令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究報告書

種目　国語

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習,体験的な学習などを取り入れるなど,児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて,思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・新出漢字は脚注とてびきに示してあり，さらに資料編に部首，筆順，用例の一覧がある。（１年P.304）	・各単元の冒頭に学習目標を明示し，教材末では評価の観点がある。 (1年P.115,119)	・本文，「基礎編」「資料編」の3部からなる。	・色覚特性に適応するようにデザインしている。	・「話すこと・聞くこと」では各学年「聞く」「話す」「話し合う」の3系統の学習材が設定してあり，学習指導要領の言語活動例が網羅している。
	・文法は「文法の窓」に示しており，基礎編の文法解説でも関連ページを示しながら解説し問題を示している。（1年P.248）	・学習活動の手順（上段）に沿って具体例（下段）を示している。学習のポイントは「言葉の力」として囲みで示している。 （1年P.55-57）	・古典学習教材として1年（伊曽保物語，竹取物語，矛盾）2年（枕草子，徒然草，平家物語，漢詩）3年（和歌，おくのほそ道，論語）がある。	・古典教材における資料は 1年　折り込み両面で「竹取物語」五人の貴公子の求婚の場面紹介（絵巻）。（1年P.141-144） 2年　折り込み両面見開き4ページ分を使って「源平の合戦」絵巻を掲載。（2年P.131-134） 3年　折り込みの両面を使って「おくのほそ道」旅程図，12世紀の平泉想定図などを掲載。 （3年P.137-140）	・学習材は，計9設定してあり，2年リングマップ（2年P.197）による話合いや３年チャート式討論（3年P.197）などの言語活動を用意している。
	・読みや考えを深めるための学習ポイントを「てびき」に示している。（1年P.28）	・単元の直前にある「学びの扉」（1年P.29），巻末の基礎編「学びを支える言葉の力」（1年P.229）で習得した知識・技能が「話すこと・聞くこと」の教材の中で活用できるようになっている。	・文学作品として1年（『さんちき』『少年の日の思い出』）2年（『字のない葉書』『走れメロス』）3年（『形』『故郷』）で構成している。	・「読むこと」の各教材では教材のテーマや著者に関連した本の紹介がある。（1年P.168他）	・「書くこと」では，1,2年6，3年4の計16の学習材の設定があり，学習指導要領の言活動例を網羅している。

	・学習目標や付けたい力については巻頭に一覧がある。また，各学習材の初めにも学習目標を書いている。	・「読むこと」における学習の手引きは「読み取る」設問と「考えを深める」設問の２段階構成になっており，最終的に学んだことをもとに表現させるようになっている。（1年P.106） ・手引きの末尾には作品中の表現に関連して語彙を豊かにするための設問があり，更にそれは巻末資料編「言葉を広げよう」（例文付き）につながるようになっている。（1年P.299） ・文脈をふまえて図表・図版を読む「読む教材」の数 1年　1（P.98） 2年　3（P.60,174,278） 3年　1（P.62） ・各学年の資料編に「学習用語一覧」がある。（1年P.303他）	・詩として中原中也，北原白秋，島崎藤村を各学年に配置している。 ・教科横断的な学習教材を各学年に配列している。 理数：（1年P.21,26,62-67,98-105,156-168,194-196,212,278-281）等	・読書案内はテーマやジャンル別でまとめてあり，全て表紙写真と紹介文がついている。（3年間で166冊）	・「読むこと」では，「てびき」のページの冒頭に言語活動の目標が示してあり，学習指導要領の言語活動例を網羅している。（1年P.52他） ・それぞれの学習材で身に付けさせたい知識技能のポイントを「言葉の力」として明示して，言語活動の手順も示している。 ・各領域で共通して必要な力が巻末の基礎編にまとめ，既習の知識・技能が活用できるような構成になっている。

学図	・新出漢字は脚注と学びの窓に示している。（1年P.12他） ・文法は「文法の学習」に示しており，言葉の学習（1年生の文法の学習）に関連して解説と問題を示している。（1年P.284） ・読みや考えを深めるための学習ポイントを「学習の窓」に示している。（1年P.12） ・学習目標は学習材の初めに，付けたい力は学習材の終わりに言葉の力・考える力・知識や技能の３点で振り返りとしてまとめている。	・学習のねらいを単元の冒頭に示している。 ・学習活動の手順（上段）に沿って具体例に（下段）が示している。 ・「読むこと」における学習の手引きは「読む前」と「考えを深める」「まとめ」の3段階構成になっており，最終的に学んだことをもとに表現させるようになっている。 ・第一教材に脚注に読解を助ける課題（脚問）がある。（1年P.2）	・本文，「言葉の学習」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」の四部からなる。 古典教材として1年（竹取物語，宇治拾遺物語，故事成語）2年（平家物語，徒然草，論語）3年（和歌，枕草子，漢詩，おくのほそ道）と構成している。 ・文学作品として1年（『少年の日の思い出』）2年（『走れメロス』）3年（『握手』『故郷』）で構成している。 ・各学年の巻頭に詩を配置している。 ・教科横断的な学習教材を各学年に配列している。 社会：(1年P.14-21,198-199,270-276)等	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ，色遣いやレイアウトに配慮している。 ・「読むこと」の各教材では教材のテーマや著者に関連した本の紹介がある。 ・読書案内は読書の広げ方を示す形になっており，表紙絵と紹介文がついている。（3年間で19冊）	・「話すこと・聞くこと」では各学年「話す・聞く1・2」の学習材を設定している。 ・学習材は計六つ設定している。 ・「書くこと」では，各学年二つの学習材を設定している。 ・言語活動の手順が1ページ目に示している。 ・「次につなげよう」で，次の学習や日常生活に生かすポイントが示している。

三省堂	・新出漢字は脚注と教材末や学びの道しるべ（1年P.17）に示してあり，資料編に部首，筆順，用例の一覧がある。（1年P.288）	・巻頭にある各教材の「つけたい力」に基づいた学習目標を明示し，教材末では目標を再確認しながら学んだことを振り返って確かめるとともに他教材や生活へ生かす視点を示している。	・本文と「資料編」の2部からなる。	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。	・「話すこと・聞くこと」では，1学年4，2学年3，3学年4の学習材が設定してあり，学習指導要領の言語活動例を網羅している。
	・文法は「文法のまど」に示してあり，重要語句を色分けしている。また，文法のまとめに関連して解説を示している。（1年P.216）	・学習活動の手順を示すとともに，学習のポイントやスピーチや話合い等の活動例を示している。	・古典教材として，１年（竹取物語，故事成語）2年（枕草子，徒然草，平家物語，漢詩）3年（和歌，おくのほそ道，論語）で構成している。	・2年には,古典教材資料のページを設けている。	・学習材は，計11設定してあり,3年生のブックトーク「ビブリオバトル」は新しい教材である。
	・内容の整理と考えを深めるためのもの学習ポイントを「学びの道しるべ」に示している。（1年P.42）	・「読むこと」における学習の手引き（「学びの道しるべ」）は「内容を理解する」「考えを深める」「学びをひろげる」の３段階構成になっており，学んだことをもとに表現させる構成となっている。（1年P.163）	・文学作品として1年（『少年の日の思い出』『トロッコ』）2年（『走れメロス』）3年（『握手』『故郷』）で構成している。	・2年には折り込み片面2ページの枕草子絵巻がある。	・「書くこと」では，1年6，2年5，3年4の計15の学習材の設定があり，学習指導要領の言語活動例を網羅している。
	・学習材末に学習目標を提示しており，領域別に付けたい力が巻頭に表でまとめている。	・関連して学習できるさまざまな「読み方」（説明文の基本構造1年P.32など）を取り上げて確認するコーナーがある。（3年間で17の方略）	・各学年巻頭に詩を配置している。また，牟礼慶子，三好達治，島崎藤村を各学年に配置している。	・「読むこと」の各教材では教材のテーマや著者に関連した本の紹介がある。	・「読むこと」では，「道しるべ」のページに言語活動の目標が示してあり，学習指導要領の言語活動例を網羅している。
		・巻末折り込みの「読み方を学ぼう一覧」で読むときに役立つ「技」や「こつ」を繰り返し確認できるようになっている。（3年時には1～3年で学んだ17の方略全てが掲載されている）	・教科横断的な学習材を各学年に配列している。 理数：(1年P.32-34,36-40,174-182）等	・読書案内は資料編にテーマごとに分類して紹介してあり，表紙絵と紹介文がある（3年間で144冊）	・それぞれの学習材で身に付けさせたい知識技能のポイントを「～する時のポイント」と示している。言語活動の手順も「学習の流れ」として示している。
		・文脈をふまえて図表・図版を読む「読む教材」の数 １年　2（P.36,82） ２年　1（P.76） ３年　1（P.84）			

教出	・新出漢字は脚注と「みちしるべ」を示しており，教科書末に部首，筆順，用例の一覧がある。（1年P.241他）	・巻頭にある各教材の学習内容の重点を各教材の冒頭に示すとともに,目標と振り返りとして明示している。最後に他の場面で生かす視点を示してある。	・本文と「資料編」の2部からなる。	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。	・「話すこと・聞くこと」では，各学年「話す」「聞く」「話し合う」をおりまぜた四つの学習材が設定してあり，学習指導要領の言語活動例を網羅している。
	・文法は「文法の小窓」に示しており，関連してP.223-239に言葉と文法解説と問題を示してある。	・学習活動の手順を示すとともに，学習のポイントやスピーチや話合い等の活動例を示している。	・古典教材として，1年（竹取物語，故事成語）2年平家物語，枕草子，徒然草，論語）3年（おくのほそ道，和歌，漢詩）で構成している。	・古典教材1年「竹取物語」では2ページにわたって絵巻を掲載している。（1年P.113-114） 2年「平家物語」では2ページを使って「平家物語合戦地図」と絵巻や系図を掲載している。（2年P.107,113） 3年「おくの細道」では見開き2ページに旅程図と俳句を掲載している。（3年P.106-107）	・学習材を，計12設定している。
	・学習のポイントは「みちしるべ」に示されており，表現，語句，重点，関連図書を示している。（1年P.26他）	・「読むこと」における学習の手引きは「確かめよう」「深めよう」「考えよう」「言葉・表現」の4段階構成である。「考えよう」のところでは学んだことをもとに表現させる構成となっているものもある。（1年における説明的文章や古典はなっていない。）	・文学作品として1年（『少年の日の思い出』）2年（『走れメロス』）3年（『故郷』）で構成している。		・「書くこと」では，1年6，2年5，3年5の計16の学習材の設定があり，学習指導要領の言語活動例を網羅している。
	・学習目標は学習材初めに示しており，学習内容の重点を巻頭に表でまとめている。（1年P.7）	・文脈をふまえて図表・図版を読む「読む教材」の数。 １年 3（P.64,138,142） ２年 2（P.40,152） ３年　0	・各学年巻頭に詩を配置し，草野心平，高村光太郎，島崎藤村を各学年に配置している。	・「読むこと」の各教材では教材のテーマや著者に関連した本の紹介文がある。	・「読むこと」では，「みちしるべ」のページに言語活動の目標が示してあり，学習指導要領の言語活動例を網羅している
			・教科横断的な学習教材を各学年に配列している。社会(2年P.106-115,3年P.104-113）等	・読書案内はテーマを設けて紹介している。（3年間で91冊）	・学習材で身に付けさせたい知識・技能のポイントを「活動のポイント」として示している。言語活動の手順や，ゴールは具体的に示している。

光村	・新出漢字は脚注と教材末に示しており，練習問題がある。（1年P.34）また付録に部首，筆順，用例の一覧がある。（1年P.296）	・巻頭にある各教材の「つけたい力」に基づいた学習目標を明示し，教材末では目標を振り返る自己評価欄がある。また，他教科や生活へ生かす活動例をしめしている。	・第2･3学年は，「本文」「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げよう」の4部からなり，第1学年は「言葉に出会うために」を加えた5部からなる。	・カラーバリアフリーを含むカラーユニバーサルデザインに配慮している。	・「話すこと・聞くこと」では，各学年本教材3つと練習教材2つが設定してあり，学習指導要領の言語活動例を網羅している。
	・文法は「文法への扉」で示しており，教科書末に関連した解説と問題が示してある。（1年P.240）	・学習活動の手順が示されるとともに，学習のポイントやスピーチや話合い等の活動例が示されている。また，その活動で使える表現（［例］質問をするときによく使う表現　1年P.176）をワンポイントで示している。	・古典教材は，1年（いろは歌，竹取物語，漢文）2年（枕草子，平家物語，徒然草，漢詩）3年（和歌，おくのほそ道）で構成している。	・古典教材における資料は，1年では，1枚表裏を使って古典への導入として百人一首や竹取物語の図版資料を掲載している。（1年P.145,148） 2年「平家物語」では見開き2ページに「源平合戦図屏風」などの資料を掲載している。（2年P.140-141） 3年「おくの細道」では見開き2ページに俳句地図を掲載している。（3年P.148-149）	・学習材は計15設定している。
	・学習のポイントは学習材末と示しており，読みと考えを深めるためのものである。（1年P.33）	・本教材の前後に練習教材がある。（1年P.40　情報を的確に聞き取る）	・文学作品は，1年（『少年の日の思い出』）2年（『走れメロス』3年（『握手』『高瀬舟』『故郷』）である。	・学習や活動のポイントが線や色，文字の太さ，マークを使用して明示されている。	・「書くこと」では，1･2年各5，3年3の計13の学習材及び各学年3つずつの「練習」の設定がある。学習指導要領の言語活動例を網羅している。
	・学習材末に目標と振り返りが示されており，付けたい言葉の力は巻頭に領域別に表でまとめている。	・「読むこと」における学習の手引きは「確認しよう」「読みを深めよう」「自分の考えをもとう」の3段階構成になっており，最後に学んだことを基に表現させる構成となっている。	・各学年巻頭に詩を配置し，また荻原朔太郎，北原白秋，島崎藤村を各学年に配置している。	・「読むこと」の各教材では教材のテーマや著者に関連した本の紹介がある。	・「読むこと」では，「学習の窓」のページに言語活動の目標が示してあり，学習指導要領の言語活動例を網羅している。
		・巻末折り込みに文章を読むときに着目すべきポイントをまとめ，一覧になっている。	・教科横断的な学習材を各学年に配列している。 社会：（1年P.106-115,142-145,,2年P.116-124,132-141,3年P.146-153）　等	・読書案内はテーマやジャンル別でまとめてあり，全て表紙写真と紹介文がついている。（3年間で162冊）	・それぞれの学習材で身に付けさせたい知識・技能のポイントを「学習の窓」として明示し，言語活動の流れも「見通しをもとう」に示している。
		・文脈をふまえて図表・図版を読む「読む教材」の数 1年　3（P.44,49,118） 2年　2（P.42,157） 3年　2（P.44,146）			・「次につなげよう」で，次の学習や日常生活に生かすポイントが示してある。

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　書写

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習,体験的な学習などを取り入れるなど,児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて,思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・姿勢，筆記具の持ち方についての正誤を写真や絵,図で示している。	・筆の運びを擬音（トン・スー・ピタッ）を使って表している。	・書き初めが各学年2,内原寸大手本1,縮小版1,参考として他8ずつある。1年は楷書と行書,2,3年は行書の内容となっている。学習のポイントや姿勢の写真を示している。	・カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。	・言語活動例として,各学年「生活を豊かにする文字」の単元が組まれ,各学年で学習したことを日常生活で生かす事例を示している。（全P23）
	・楷書の点画の説明は2ページに渡って説明がある。行書の点画については作品の中で説明をしている。		・毛筆については,1年楷書7,行書4,うち半紙原寸大手本1,2年行書6,うち半紙原寸大手本1,3年行書1とまとめで構成している。 3年間で18の作品を示している。	・巻末資料漢字（楷書と行書）一覧表には常用漢字2136字。と人名漢字表（行書と楷書）862字を掲載している。	・学習指導要領の「言語活動例」を意識したテーマを設定している。また,その学習に必要な一連の活動を写真とともに示している。（P.42,45）
	・筆づかいは朱色と薄墨色で動きが分かるようになっている。	・「学習のポイント」として各学習におけるポイントをまとめている。	・硬筆については，毛筆と関連を図る書き込みが各学年にある。また1年生で楷書のまとめがあり,2年生で行書のまとめがある。	・毛筆の手本は左側のページ1ページにある。教科書サイズがＡＢ版。	
		・目標とそれに対する振り返りのページに自己評価する欄を設置している。（Ｐ.34）		・各学年で系統性をもたせ,日常の書式などの作品例を載せている。	・話し合いの学習活動を設定している。 ・楷書と行書の使い分けについて,理由を挙げて説明する活動を設定している。（P.68-69）
		・自ら課題について考えたあと,書いて確かめ,毛筆の学習を生かして硬筆で書く学習の流れとなっている。		・書き初めの手本は折り込み形式で最後に3学年ともまとめている。	
		・生活や学習に生かす例として,ノートの書き方（分かりやすい情報の整理の仕方）がある。（Ｐ.86-87）			

学図	・姿勢，筆記具の持ち方について写真で示してある。 ・楷書の点画と行書の点画についてそれぞれ１ページずつ説明がある。 ・筆の動きが分かるように筆使いは中抜きになっている。	・基本点画は見開き2ページに渡って示している。筆圧の違いを数字で表している。 ・単元ごとに目標とそれに対する振り返りを設定している。 ・課題解決を図るために，試し書きをして課題をみつけている。	・書き初めが各学年2，内楷書1，行書1あり，原寸大の手本がある。縮小版に朱書きで字形やバランスなどを示しており，注意点を書いてある。 ・毛筆については，1年楷書4，行書2，2年楷書2，行書4，3年楷書1，行書1，すべて半紙原寸大の手本がある。 3年間で14の作品を示している。 ・硬筆については，1・2年にそれぞれ楷書と行書を配置している。 ・朱書きで注意点を書いてある。	・色遣いやレイアウトなどに配慮し，ユニバーサルデザインの視点を取り入れている。 ・巻末資料漢字（行書のみ）一覧表には常用漢字2136字を示している。 ・毛筆の手本は2ページによるＢ４サイズ。 ・書写を日常の生活に生かす例は3年の学習ページにある。 ・書き初めの手本は各学年のページに織り込み形式である。	・3学年「書写を生活に生かそう」で，3年間で学習したことを日常生活で生かす事例を示している。（P. 86-95） ・写真等で様々な事例を示している。

三省堂	・姿勢，筆記具の持ち方についての正誤を写真や絵,図で示している。	・基本点画は1ページに示している。筆圧の違いを数字で表している。	・書き初めが各学年あり,原寸大の手本がある。1年は楷書1,行書1・2年は楷書2,行書2・3年は楷書1,行書1の作品がある。	・ユニバーサルデザインに配慮している。	・「生活に生かそう」の単元で,学習したことを日常生活で生かす事例を示している。（全12P）
	・楷書の点画は1ページで説明している。行書の点画は作品の中で説明している。	・基本的な行書の筆使いを見開き2ページで示している。	・毛筆については1年楷書6,行書2,うち半紙原寸大手本1・2年行書4,3年まとめで構成している。	・巻末資料漢字（楷書と行書）一覧表には小学校で学習した漢字1006字と中学校で学習する漢字1130字を示している。	・学習したことを生活に生かすために,学習指導要領の「言語活動例」と関連した事例を配置している。（1年行事の目標,本の紹介。2年手紙,座右の銘。3年卒業記念冊子。）
		・目標とそれに対する振り返りの欄を設けている。	・3年間で12の作品を示している。	・毛筆の手本は左側のページＢ５サイズである。	・楷書と行書の使い分けについて,各場面で理由を挙げて説明する活動を設定し,話し合いの学習活動の設定を設けている。（P.62-63）
		・自ら課題について考えたあと,書いて確かめ,毛筆の学習を生かして硬筆で書く学習の流れとなっている。	・硬筆については，毛筆と関連を図る書き込みが1・2年にある。また1年に楷書と行書のまとめがあり,2年に行書のまとめがある。	・各学年の「生活に生かそう」の単元と資料編に日常の書式などの作品例を挙げている。	
			・注意点を書いている。	・書き初めの手本は折り込み形式で最後に3学年ともまとめている。	

教出	・姿勢，用具の持ち方について写真で示している。	・基本点画は見開き2ページにわたって示している。筆圧の違いを数字で表している。	・書き初めが各学年2,内原寸大手本1,縮小版1,参考として他6ずつある。1年は楷書と行書,2・3年は行書。姿勢の写真を示している。	・カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。	・各学年各単元ごとに「学習を生かして書く」等の学習活動を設定している。2年生の三で,生活に生かす単元を設定している。（全27P,生活9P）
	・楷書の点画の説明は2ページに渡って説明がある。行書の点画については作品の中で説明している。	・目標とそれに対する振り返りの欄を設けている。 ・課題解決を図るために,試し書きをして課題を見付けている。	・毛筆については,1年楷書3,行書3,うち半紙原寸大手本1,2年行書5,3年行書2とまとめ,補充教材として楷書3,行書4で構成している。 3年間で20の作品を示している。	・巻末漢字一覧表（行書のみ）には小学校で学習した漢字1006字を示している。	・学習したことを生活に生かすために,写真等で事例を示している。
	・筆の動きが分かるように,筆づかいが朱色と薄墨色になっている。	・目標とそれに対する振り返りの欄がある。	・硬筆については，毛筆と関連を図る書き込みが各学年ある。また1年に楷書,2年に行書のまとめがある。	・毛筆の手本は右側のページB5サイズである。	1学年…レポート，手紙 2学年…新聞，案内状 3学年…卒業関係
		・課題解決を図るために,試し書きをして課題を見付けている。	・注意点を書いている。	・日常の書式などの作品例などは各学年の「学習を生かして書く」の単元にある。	
		・生活に生かす例として特徴的なものはない。		・書き初めの手本は折り込み形式で1年は1年のページに,2･3年は最後にある。	

光村	・姿勢,筆記具の持ち方について写真で示している。 ・楷書の点画の説明は2ページに渡って説明があるが,行書の点画については作品の中で硬筆として説明をしている。 ・筆使いは朱色と薄墨色で筆の動きが分かるようになっている。	・基本点画は見開き2ページに渡って示している。筆圧の違いを数字で表している。 ・各学習におけるポイントが「学習の窓」として囲みで示している。 ・目標とそれに対する振り返りの欄が毎回ある。 ・自ら課題について考えたあと,書いて確かめ,毛筆の学習を生かして硬筆で書く学習の流れとなっている。 ・生活に生かす例としてマッピング,スピーチメモ,表やグラフ,リーフレットやフリップの書き方などを紹介している。 （P.68-73）	・書き初めが各学年2,内楷書1,行書1あり,参考として他3ずつある。原寸大手本1,縮小版1がある。姿勢の写真を示している。 ・毛筆については,1年楷書3,行書2,2年行書4,3年行書1,補充教材として楷書4,行書6で構成している。 ・3年間で20の作品を示している。 ・硬筆については,1・2年に毛筆と関連を図る書き込みがある。また,1年に楷書と行書,2年に行書を配置している。	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ,色遣いやレイアウトなどに配慮している。 ・巻末資料漢字（楷書と行書）一覧表には常用漢字2136字を示している。部首別行書一覧がある。 ・毛筆の手本は左側のページＢ5サイズである。 ・日常の書式などの作品例などは資料編に整理してまとめている。 ・書き初めの手本は折り込み形式で最後に3学年ともまとめている。	・巻末の「資料」で「手紙の書き方,のし袋の書き方,ポスター,新聞」などの事例を示している。 ・話し合いの学習活動を設定している。 ・ポスターを作る時の書体について,理由を挙げて説明する活動を設定している。 （P.47）

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究報告書

教科　社会(地理的分野)

	観点1 基礎･基本の定着	観点2 主体的に学習に取り組む 工夫	観点3 内容の構成･配列･分量	観点4 内容の表現･表記	観点5 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習,体験的な学習などを取り入れるなど,児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて,思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・1単位時間は,見開き2ページとし,タイトルの横に学習課題を示している。(P.45等) ・章の始めには,関連する小学校の内容が記載されている。(P.4等) ・章末には,重要語句確認の問題がある。(P.41等)	・各章には「深めよう(P.71等)」や「地理のスキルアップ(P.14等)」,「地理にアクセス(P.79等)」に加え,「調査の達人(P.116等)」コーナーがある。 ・資料に「えんぴつマーク」を付けてあり,学習を深めるための作業や活動を示している。(P.56等) ・3分野の関連を意識した分野関連マークがある。(P.167等)	・世界の宗教と生活文化を4ページで記載している。(P.38-P.41) ・「東北地方」の単元では,伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らしを取り扱っている。(P.239-P.249) ・教科横断的な学習の充実に関する内容として,「深めよう」では,「琵琶湖と環境保全の歩み」や,「ひであきさんの自由研究」として稲作が盛んな地域の調査を例に自由研究の手順を資料とともに示している。(P.126等)	・単元導入の資料には,キャラクターが,資料を読み取る視点を吹き出しで提示している。(P.197等) ・本文記述の中に,参照したい資料の番号が記載されている。(P.7等) ・「ためしてみよう」コーナーで,図版に書き込みをする欄が設けられており,その場で学習内容の確認ができる。(P.128等) ・ワイド版(AB版)のため,資料や図が大きい。 ・写真資料が620,地図が218掲載されている。	・見開きの右脚注に,「確認」コーナーがあり,学習した内容を箇条書きや3つの語句を使う等して説明させるようにしている。(P.231等) ・章末のまとめでは,キーワードを使って,学習内容を説明させるコーナーがある。(P.58等)

教出	・1単位時間は,見開き2ページとし,タイトルの下に学習課題が示している。(P.30等) ・本文記述と関連があるページが紹介している。(P.35等) ・見開き右側に,「ふりかえる」コーナーがある。(P.89等)	・小単元の終わりに「地域から世界を考えよう」(P.111等),「現代日本の課題を考えよう」(P.222等)というコーナーが設けてあり,生徒が図表や文章でまとめる学習ができる。	・世界の諸文化を言語と宗教(3大宗教)を中心に表記している。(P.38,39) ・「東北地方」の単元では,伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らしを取り扱っている。(P.225-P.237) ・さまざまな地域区分で,昔の国の区分と地域の食文化について触れている。(P.134,135) ・「地理の窓」の項目で,伝統技術と先端技術を扱っている。(P.193) ・教科横断的な学習の充実に関する内容として,「現代日本の課題を考えよう」では,「多文化共生を目ざして」「交流による地域づくり」といった教材がある。(P.210等)	・世界の諸地域の節頭に地図と雨温図(P.42,P.43),日本の諸地域の節頭に,写真と精細な地図(P.200,P.201)がある。 ・キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を提示している。(P.162) ・本文記述と関連のある図版・資料を示した番号を本文に記している。(P.166等) ・ワイド版(AB版)のため,資料や図が大きい。 ・写真が460,地図が209掲載されている。	・章末に,「学習のまとめと表現」のコーナーがある。(P.160)

帝国	・1単位時間は,見開き2ページとし,タイトルの横に学習課題を明確化している。(P.171等) ・学習上重要な語句を説明した「解説」がある。(P.75等) ・右側脚注に「確認しよう」「説明しよう」を置き,「学習内容」を再確認することができる。(P.20) ・地理の基本的な技能を身に付けるための「技能をみがく」がある。(P.7,8等) ・本文記述と関連があるページを紹介している。(P.38等)	・「トライアル地理」では,地理の知識や技能を使って,課題に自分なりにチャレンジできるコーナーがある。(P.149等) ・「羅針盤マーク」のコラムが22ほどあり,未来の社会をつくるために参考となる。(P.57等) ・「地域を探ろう」コーナーでは,それぞれの地域の特徴的な事象を取り上げ,自主的に調べ学習をする構成になっている。(P.238等)	・世界の宗教が生活とのかかわりで2ページで記している。(P.30,31) ・日本の伝統文化を地方ごとに扱っている。(P.205等) ・「東北地方」の単元では,伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らしを取り扱っている。(P.240-P.253) ・教科横断的な学習の充実に関する内容として,「地域を探ろう」では,「公害の経験を生かした環境保全への取組」等の事例がある。(P.180等)	・各州の節頭ページに,地域の姿を実感できるように,地図や写真等が掲載している。(P.35等) ・キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点の提示や学習活動の促しをしている。(P.54等) ・本文記述と関連のある資料を示した番号を本文に記している。(P.85等) ・ワイド版(AB版)のため,資料や図が大きい。 ・写真が560,地図が182掲載されている。	・「確認しよう」「説明しよう」コーナーに,説明活動等の言語活動を展開するような発問が掲載している。(P.107等) ・章末の「学習のまとめ」では,基礎的な学習内容を押さえたうえで,それらを活用して自分の言葉で表現させるようにしている。(P.109等)

日文	・1単位時間は,見開き2ページとし,タイトルの横に「学習課題」を示している。(P.31等) ・左側脚注に,本時のキーワードを示しており,脚注の「学習の確認と活用」で学習内容の確実な定着を図るようになっている。(P.31等) ・本文記述と関連があるページを紹介している。(P.83等) ・「連携コーナー」があり,小学校の学習内容や他分野での学習内容との関連を示している。(P.31等)	・「スキルアップ」では,地図や写真・統計の活用の仕方について系統立てて解説している。(P.11等) ・作業学習として「トライ」コーナーがある。(P.9等)	・世界の宗教と生活文化を2ページで記載している。(P.26-P.27) ・日本の伝統文化は各地方で扱っている。(P.179等) ・「東北地方」の単元では,伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らしを取り扱っている。(P.230-P.240) ・教科横断的な学習の充実に関する内容として,「自由研究」や「地域からのメッセージ」に「過去からの伝承に学ぶ」等の教材を記載している。調査方法として仮設検証についての記載がある。(P.240等)	・ポイントとなる部分にキャラクターを使い,学習課題をもたせる構成になっている。(P.188等) ・資料や図が多く,見開きごとに通し番号を付け,関連する本文に記載している。(P.117等) ・ワイド版(AB版)のため,資料や図が大きい。 ・写真が516,地図が191掲載している。	・右側脚注に,「学習の確認と活用」コーナーがあり,本時に学習した学習内容を言語活動によってまとめさせている。(P.95等) ・章末に「学習の活用」コーナーがあり,これまで学習した内容を活用して学習内容を深化させている。(P.98等)

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　社会（歴史的分野）

	観点1 基礎･基本の定着	観点2 主体的に学習に取り組む工夫	観点3 内容の構成･配列･分量	観点4 内容の表現･表記	観点5 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習，体験的な学習などを取り入れるなど，児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて，思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・1単位時間の内容を見開き2ページとし，タイトル右横に「どのように」「どのような」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。	・「深めよう」コーナーが13事例あり，図版資料等を使って，生徒が歴史事象を追究できるようにしている。(P.58等)	・巻頭で日本の世界遺産，国宝，重要文化財を紹介する等，各所で文化を記述している。	・キャラクターが吹き出しで，資料を読み取る視点を提示し，学習活動を促している。	・各見開きページ右下に「確認」コーナーがあり，本時に学習した内容を説明して振り返らせるようにしている。
	・各見開きページ右下に，毎時間のまとめ，振り返りを行う「確認」のコーナーがある。	・「わたしたち歴史探検隊」のコーナーが6事例あり，調査方法やまとめ方を提示している。(P.230等)	・巻末で各地の主な史跡として一覧で表記している。	・小さな資料は実物大で，大きな資料にはサイズを付けて，具体的にイメージできるようにしている。(P.32等)	・「この時代の特色をとらえよう」コーナーがあり，年表・新聞等様々な表現方法でまとめる活動を示している。(P.61等)
	・本文記述と関連のあるページを紹介している。	・分野関連マークがあり，地理・歴史との関連が分かるようにしている。	・各ページの写真資料等に「国宝・重要文化財マーク」「世界遺産マーク」を付けている。	・資料には見開きごとに通し番号が付けられており，本文中にも資料に対応した番号が付けられている。(P.32等)	
	・学習している時代や世紀を，前後の時代も含めて確認できるよう時代・世紀のスケールで各左ページ下に表示している。		・「深めよう」として室町時代の生活文化と現代の関連を示す特設ページを設けている。(P.93)	・ワイド版(AB版)のため，資料や図が大きく，数も精選されている。	
	・各章頭には，小学校における学習内容を年表として掲載し，章末の年表に新たに学習した内容を付け加えている。(例P.19とP.62)		・各章に設けた「深めよう」，「私たち歴史探検隊」のコーナーには，教科横断的な学習につながるような内容を含んでいる。(P.60，94等)		

教出	・1単位時間の内容を見開き2ページとし，タイトルの下に「どのような」「どのようにして」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。 ・毎時間のまとめや振り返りをステップ1，ステップ2の二段階で行っている。 ・側注では，語句の補足説明をしている。(P.62等) ・本文記述と関連のあるページを紹介している。 ・各本文見開きのタイトルの上に，学習の時期が分かる世紀・年代を記したスケールがある。 ・小学校で学習した人物と中学校で学習する人物を区別するマークがある。	・特設ページとして歴史を掘り下げていくテーマ学習を23事例紹介している。	・各時代の文化を学習する見開きページでは文化の特徴をとらえたタイトル設定をしている。 ・各時代にコラム「歴史の窓」や自由研究ページで伝統文化を紹介している。(P.75等) ・各ページの写真資料等に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」マークを付け，紹介している。(P.62等) ・巻末で各地の主な遺跡・史跡として地図で表記している。 ・特設ページとして設けた歴史を掘り下げていくテーマ学習では，教科横断的な学習につながるような内容を含んでいる。(P.126-127，183等)	・キャラクターが吹き出しで，資料を読み取る視点を提示し，学習活動を促している。 ・資料には見開きごとに通し番号を付けており，本文中にも資料に対応した番号を付けている。(P.63等) ・ワイド版(AB版)のため，資料や図が大きく，数を精選している。	・各見開きページ右に「ふりかえる」のコーナーがあり，2ステップで説明したり話合いをさせたりするようにしている。 ・章末には，「学習のまとめと表現」コーナーがあり，学習内容を生徒が自分の言葉で表現して整理できるようにしている。(P.84-86等)

清水	・1単位時間の内容を見開き2ページとし，タイトルの左横に「どのような」「何だろうか」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。 ・見開き左ページ下の「まとめてみよう」で，まとめる内容を示している。(P97) ・側注では，語句を補足説明うぃている。(P.191等) ・本文記述と関連のあるページを紹介している。(P.124等)	・「もっと知りたい歴史」として，歴史にまつわるエピソードを9事例紹介している。(P.224等) ・「歴史のとびら」として，歴史を学習するうえで知っておきたいことや調べ方の方法を6事例紹介している。(P.244等)	・白鳳文化の記述がある。(P.35) ・巻末で歴史遺産を地図で表記している。 ・写真資料等に「国宝」「世界遺産」マークを付け，紹介している。(P.85等)	・資料には見開きごとに通し番号を付けている。(P.124等) ・資料が教科書左右に配置され，背景色で区別している。	・見開き2ページ左に本時の学習のめあてを示しており、それに対応したまとめとして右下に「まとめてみよう」コーナーがある。そこで、図や表を活用してまとめさせるようにしている。（P93など） ・章末には、「まとめてみよう」コーナーがあり、学習した内容をさまざまな区分から整理することを促している。

帝国	・1単位時間の内容を見開き2ページとし，タイトルの右横に「どのような」「どのように」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。	・歴史の基礎的な技能を身に付けるコラム「技能をみがく」で11の方法を示している。(P.8等)	・各時代の文化を学習する見開きページでは文化の特徴をとらえたタイトル設定をしている。	・各時代の導入部には，「タイムトラベル」を設け，大きなイラストで各時代の特色を表している。(P.92等)	・各見開きページ右下に「説明しよう」コーナーがあり，本時に学習した内容を説明させるようにしている。
	・「確認しよう」「説明しよう」で，毎時間のまとめや振り返りを行っている。	・「タイムトラベル」と教科書の本文，「学習のまとめ」で相互に関連付けを図っている。	・写真資料等に「国宝」「世界遺産」マークを付け，紹介している。	・キャラクターが吹き出しで，資料を読み取る視点を提示したり，学習活動を促したりしている。	・各部の最後に「学習をふりかえろう」コーナーが設けられ， 学習内容を生徒が自分の言葉で表現して深めるようにしている。(P.48等)
	・側注には語句の説明がある。	・2箇所ある「トライアル歴史」で，意見をまとめたり，話し合ったりしている。(P.106-107，P.154-155)	・巻末で各地の主な遺跡・史跡を地図で表記している。	・地理的分野にもつながるように，日本地図，東アジア地図，世界地図等多くの地図を設置し，空間的に歴史をとらえることができるようにしている。(P.71等)	
	・本文記述と関連のあるページを紹介している。		・巻頭に日本各地の伝統行事と祭りを紹介している。	・資料には見開きごとに通し番号が付けられており，本文中にも資料に対応した番号を付けている。(P.125等)	
	・各右ページにはインデックスとして時代名を示している。		・各章に設けた「歴史を探ろう」，や巻末の「身近な地域の歴史の舞台」には，教科横断的な学習につながるような内容も含んでいる。(P.122-123，134-135等)	・ワイド版(AB版)のため，資料や図が大きく，数を精選している。	

日文	・1単位時間の内容を見開き2ページとし，タイトルの左横に「なぜ」「どのように」「どのような」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。 ・学習の「確認」と「活用」の欄を付け，毎時間のまとめや振り返りを行えるようにしている。 ・各左ページに，学習している時代や世紀を，前後の時代も含めて確認できるよう時代・世紀のスケールで示している。 ・本文記述と関連のあるページが紹介している。 ・見開き左側に，重要語句が一覧になっている。	・「でかけよう地域調べ」，「歴史を掘り下げる」，「先人に学ぶ」として学習をサポートするコーナーを設けている。 (P.180，P.90等) ・五つある「とらえよう時代の転換」では資料を活用し，時代の変化を考えさせる道筋を示している。 (P.66等)	・写真資料等に「国宝」「世界遺産」マークを付け，紹介している。 ・巻末で仏像や文化財を紹介している。(P.282-283) ・巻末で主な史跡を地図上で表している。 ・コラムで，文化財の継承作業を紹介している。 (P.142) ・巻末の折り込み年表に，日本の世界遺産を紹介している。 ・各章に設けた「先人に学ぶ」，「歴史を掘り下げる」，「でかけよう地域調べ」には，分野・教科横断的な学習につながるような内容を含んでいる。(P.30-31，91等)	・各見開きページにおいて，キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を提示し，学習活動を促している。 ・小さな資料は実物大で，大きな資料にはサイズを付けて，具体的にイメージできるようにしている。 (P.41等) ・資料には見開きごとに通し番号を付けており，本文中にも資料に対応した番号を付けている。(P.151等) ・ワイド版(AB版)のため，資料や図が大きく，数も精選されている。	・各見開きページ右下に「学習の確認と活用」コーナーが設置してあり，本時に学習した内容を説明させるようにしている。 ・各編の途中には「とらえよう！時代の転換」，最後には「学習の活用　とらえよう！」コーナーがあり，説明活動をとおして学習内容の定着を図るようにしている。(P.126，P.144等)

自由社	・1単位時間の内容を見開き2ページとし，タイトルの下に「どのように」「なぜ～だろうか」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。 ・「まとめにチャレンジ」を付け，まとめや振り返りを行えるようにしている。 ・側注では，語句等を補足説明している。(P. 131等)	・各章末には「もっと知りたいコラム」があり，歴史的事象を説明しているが，図版資料が少ない。(P. 120等)	・各時代で文化を記述している。 ・巻頭で日本の伝統工芸品を紹介している。 ・「神話が語る国の始まり」で神話の記述がある。(P. 44，P45) ・もっと知りたいで「仏像の見方」等を扱っている。(P. 72，P73)	・本文中にある資料は数が少ないため，一つ一つの資料が大きい。 ・日本及び日本人の起源に関する記述がある。(P. 44等)	・章末には「まとめ」があり，比較や要約，意見交換等の言語活動をとおして学習内容を深めるようにしている。(P. 79，P. 80等) ・歴史豆辞典では，用語の意味を100字でまとめさせる活動がある。(P. 79等)

育鵬社	・1単位時間の内容を見開き2ページとし，タイトルの下に「何ができるでしょう」「調べてみましょう」「どのような」という表現で記載されており，1単位時間で追究する課題を提示している。 ・学習内容を確認し，まとめや振り返りを行っている。 ・本文記述と関連があるページを紹介している。 ・各章の冒頭に，各時代の歴史の大きな流れがわかる「歴史絵巻」，歴史の流れを物差しで表わし，視覚的に理解する「歴史モノサシ」を設けている。 ・側注では，語句等を補足説明している。	・「読み物コラム(歴史ビュー)」や「人物コラム(人物クローズアップ)」欄があり，様々な観点から資料を提示している。 ・「人物」コラムが要所要所に掲載している。	・巻頭で美術文化を中心に写真で紹介している。 ・巻末で「各地のおもな遺跡・史跡」を紹介している。 ・写真資料等に「国(国宝)」「世(世界遺産)」マークを付け，紹介している。	・歴史の大きな節目となった場面の歴史読み物や人物のコラム・説明がある。 ・キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点の提示や学習活動を促している。 ・図版は，色覚特性がある生徒にも判別しやすい色を使用している。	・「課題学習」が章末にあり，テーマにもとづいて調査し，発表する学習活動が提示している。(P.57等) ・章のまとめでは，学習した人物の中から5人選び，その理由を述べ合う学習活動が提示している。また，学習内容を100字程度でまとめさせる活動を提示している。(P.60等)

学び舎	・1単位時間は，見開き2ページとしている。 ・各部の最初に，時代を貫く学習課題がある。(例：きびしく対立する国と国，人と人の関係を解き明かします。(略)何が社会を大きく変えたのでしょうか。(P.145))	・「歴史を体験する」コーナーがあり，6事例紹介している。(P.30等)	・各見開きページの最後に設けたコラム欄では，文化について記した回がある。 ・各章に設けた「歴史を体験する」には，教科横断的な学習につながるような内容も含んでいる。(P.112-113，168-169等)	・資料には見開きごとに通し番号を付けている。 ・A版のため，資料や図が大きく，見やすい。また，数も精選されている。	・各部の終末に学習のまとめで，政治や社会がどのように変わったか説明させたり，歴史的事象に対して自分の考えをまとめ，意見交換したりして深める活動を提示している。(P.54等)

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　社会（公民的分野）

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む 工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点5 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習，体験的な学習などを取り入れるなど，児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて，思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・1単位時間の内容を見開き2ページとし，タイトル右横に「どのように」「どのような」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。 ・授業の「確認」を設け，まとめ，振り返りを行えるようにしている。 ・本文記述と関連があるページを紹介している。 ・分野関連マークがあり，地理・歴史との関連が分かるようにしている。 ・章頭には，小学校における学習内容がを掲載している。（P. 117等）	・大単元導入において，1ページに半ページ程度の写真が1枚と小さめの2枚の写真を掲載している。写真はその単元に関係する社会的事象で，それぞれの写真に対して，キャラクターが「どうして」「どのような」という形式の問いを発している。（P. 117等） ・作業的・体験的な学習の事例が，「模擬裁判」等25事例ある。	・中単元において，見開きごとにタイトルを「私たちの生活と文化の役割」「暮らしに生きる伝統文化」「多文化共生を目指して」の項目で示している。（P. 16-P. 21） ・中単元末の「伝統文化の継承と私たち」で，更に学習を深めている。（P. 22-23） ・巻頭・巻末で「伝統文化・宗教」の写真を掲載している。 ・教科横断的な学習の充実に関する内容として，「深めよう」では「公害のない社会へ」で水俣市の取組を例に環境問題を，「公民にチャレンジ」では，バリアフリーについて調査内容をまとめる作業を資料として示す等，環境や福祉について紹介している。（P. 49，P. 160等）	・単元導入の資料には，キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を示したり学習活動を促したりしている。 ・本文中の資料の扱いについて，例えば「私たちと政治」における資料では，絵図，写真，地図，表・グラフ，新聞，年表を260掲載している。 ・資料には見開きごとに通し番号を付けている。	・本文見開き2ページの右下に　「確認」コーナーを設け，1時間のまとめを説明させるようにしている。 ・多面的・多角的に考えさせる事例として，「深めよう」が8事例，「公民にチャレンジ」が20事例設けている。 ・目的に応じて適切に表現させるために，単元末で，文章で説明させる問題を出題している。（P. 166）

教出	・1単位時間の学習内容を見開き2ページとし，タイトル右横に「どのように」「どのような」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。	・大単元の導入において，1ページに単元の内容に関する写真と半ページ程度の写真1枚と小さめの写真2枚が掲載されている。下部に，写真の内容に関する説明とともに，写真の内容に関する項目とページ数を示している。(P.117)	・中単元において，見開きごとにタイトルを「豊かな生活を実現するために　科学と宗教」「理解し，尊重し合うこと　日常生活と伝統・文化，芸術」の項目で示している。(P.18-21)	・単元導入の資料には，キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を示したり学習活動を促したりしている。	・本文見開き2ページの右ページに「ふりかえる」コーナーを設け，1時間のまとめを段階を追って確認・説明等させている。
	・授業のまとめや振り返りをステップ1，ステップ2の二段階で行えるようにしている。	・作業的・体験的な学習の事例が，「裁判傍聴にいってみよう」等7事例ある。	・中単元末の「つなげたい，日本の伝統や文化」で，更に深く考えさせている。(P.22-23)	・本文中の資料の扱いについて，例えば「私たちと政治」における資料では，絵図，写真，地図，表・グラフ，新聞，年表を241掲載している。	・多面的・多角的に考えさせる事例として，「読んで深く考えよう」が6事例，「言葉で伝え合おう」が6事例を設けている。
	・側注では，難しい語句を具体的に詳細に補足説明している。		・教科横断的な学習の充実に関する内容として，「言葉で伝え合おう」でディベートやプレゼンテーション，レポートの作成等まとめ・発表の手法について具体的な課題を紹介している。	・資料には見開きごとに通し番号を付けている。	・目的に応じて適切に表現させるために，単元末で，文章で説明させる問題を出題している。(P.152)
	・本文記述と関連があるページを紹介している。				

清水	・1単位時間は，見開き2ページとし，タイトルの左横に「どのような」「何だろうか」という問いかけの形態で1時間の追求する課題を提示している。 ・学習内容の理解を深めるための視点を示し，まとめや振り返りを行えるようにしている。 ・側注では，難しい語句を具体的に詳細に補足説明している。 ・本文記述と関連があるページを紹介している。	・大単元導入において，1ページに半ページ程度の写真が1枚と小さめの2枚の写真を掲載している。写真はその単元に関係する社会的事象で，それぞれの写真に対して，キャラクターが「どうして」「どのような」という形式の問いを発している。(P. 99) ・作業的・体験的な学習の事例が，「各政党の政策調べ」等23事例ある。	・序章において，見開きで「私たちの生活と文化」の項目で示している。(P. 10･P. 11) ・関連ページとして，「日本の文化を考えてみよう」で，更に取り上げている。(P. 12･P. 13) ・巻末に，「日本の無形文化遺産」を写真で紹介している。 ・教科横断的な学習の充実に関する内容として，「もっと知りたい公民」では卒業論文の作成等まとめ・発表の手法について具体的な課題を例に紹介している。	・キャラクターが吹き出しで学習活動を促している。(P. 141等) ・本文中の資料の扱いについて，例えば「私たちと政治」における資料では，絵図，写真，地図，表・グラフ，新聞，年表を132掲載している。	・多面的・多角的に考えさせる事例として，「もっと知りたい公民」が9事例，「深める公民」が11事例を設けている。 ・目的に応じて適切に表現させるために，単元末で，重要語句を説明させる問題を出題している。(P. 160)

帝国	・1単位時間の学習内容を見開き2ページとし，タイトル右横に「どのように」「どのような」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。 ・授業の最後に「確認しよう」「説明しよう」で，まとめや振り返りを行えるようにしている。 ・側注には難しい語句の説明や地理分野，歴史分野との関連について記述している。 ・本文記述と関連があるページを紹介している。	・大単元導入において，1ページの中央に単元の内容に関する写真を1枚掲載している。写真の下には，大単元の概要及び問いを掲載している。(P.103) ・作業的・体験的な学習の事例が 「模擬傍聴」等11事例ある。	・中単元において，見開きごとにタイトルを「生活に息づく文化」「日本の伝統・文化」「文化の継承と創造」の項目で示している。(P.12-17) ・それぞれの見開きの中で，「クローズアップ」としてタイトルの内容を写真を用いて説明している。 ・教科横断的な学習の充実に関する内容として，「トライアル」でディベートやレポート作成等まとめ・発表の手法について具体的な課題を例に紹介し，「未来に向けて」では，防災や地球環境問題等，持続可能な社会の実現にむけた課題を取り扱っている。	・本文中の資料の扱いについて，例えば「私たちと政治」における資料では，絵図，写真，地図，表・グラフ，新聞，年表を217掲載している。 ・資料には見開きごとに通し番号を付け，指示しやすいように配慮している。	・本文見開き2ページの右下に「確認しよう」「説明しよう」コーナーを設け，1時間のまとめを説明できるようにしている。 ・多面的・多角的に考えさせる事例として，「トライアル」が7事例，「未来に向けて」が5事例設けている。 ・目的に応じて適切に表現させるために，単元末で，グラフから読み取れることを文章で説明できるようにしている。(P.147)

日文	・1単位時間の学習内容を見開き2ページとし，タイトルの左横に「どのような」「何だろうか」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。	・大単元導入において，1ページに2枚の単元の内容に関する写真が掲載されている。更に，その単元の概要が記載されており，キャラクター2人が写真の説明をしたり，問いを発したりしている。(P.119)	・中単元において，見開きごとにタイトルを「現代社会における文化」「日本の伝統文化の特徴と多様性」「受けつぎ，創造する日本の文化」の項目で示している。(P.14-19)	・単元導入の資料には，キャラクターが吹き出しで資料を読み取る視点を示したり学習活動を促したりしている。(P.96等)	・本文見開き2ページの右下に「学習の確認と活用」コーナーを設け，1時間のまとめを考えることができるようにしている。
	・学習の「確認」と「活用」で，まとめや振り返りを行えるようにしている。	・作業的・体験的な学習の事例が，「インタビュー調査」等17事例ある。	・中単元末で「世界の宗教と芸術」を紹介している。(P.20)	・本文中の資料の扱いについて，例えば「私たちと政治」における資料では，絵図，写真，地図，表・グラフ，新聞，年表を271掲載している。	・多面的・多角的に考えさせる事例として，「アクティビティ」が18事例，「明日に向かって」が8事例，「チャレンジ公民」が4事例を設けている。
	・本文記述と関連があるページを紹介している。		・中単元末で，今に生きる日本文化の例として「四国八十八カ所めぐり」を紹介している。(P.21) ・教科横断的な学習の充実に関する内容として，「アクティビティ」でディベートや討論等発表の手法について具体的な課題を例に紹介し，「チャレンジ公民」では，地球温暖化問題等，持続可能な社会の実現にむけた課題を取り扱っている。	・資料には見開きごとに通し番号を付け，指示しやすいように配慮している。	・目的に応じて適切に表現させるために，単元末で「合意」について考える問題を出題している。(P.174)

自由社	・1単位時間は，見開き2ページとし，タイトルの下に「何だろうか」「どうして」「どう」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。 ・「ここがポイント」で，まとめや振り返りを行えるようにしている。	・大単元導入において，1ページに学校の入学式や卒業式，日本の四季のイラストを掲載している。単元名の下に単元の内容にかかわる事象についての問いを2つ程度記述している。(P. 107等) ・「持続可能な社会を目指して」の章末部分に記載はないが，その他の各章末の「学習の発展」の項目の中に調べる課題を設定している。	・序章において，見開きで「文化の継承と創造」の項目で示している。(P. 10, P. 11) ・もっと知りたいで，「科学とは何だろう」「芸術とは何だろう」「宗教となんだろう」と詳細に記述している。 ・教科横断的な学習の充実に関する内容として，「もっと知りたい」で国連平和維持活動や日本のさまざまな課題等，持続可能な社会の実現にむけた課題を取り扱っている。	・本文中の資料の扱いについて，例えば「私たちと政治」における資料では，絵図，写真，地図，表・グラフ，新聞，年表を121掲載している。	・多面的・多角的に考えさせる事例として，「もっと知りたい」として，18事例設けている。 ・目的に応じて適切に表現させるために，単元末で，字数制限を設けた文章で説明させる問題を出題している。(P. 142)

育鵬社	・1単位時間は，見開き2ページとし，タイトルの下に「何ができるでしょう」「調べてみましょう」「どのような」という問いかけを記載しており，1単位時間で追究する課題を提示している。 ・学習内容を確認し，まとめや振り返りを行えるようにしている。 ・本文記述と関連があるページを紹介している。	・大単元の導入において，1ページに半ページ程度の単元の内容に関する写真を3枚掲載している。キャラクター2人が写真を説明したり，問いを発したりしている。(P.121) ・作業的・体験的な学習の事例が，「裁判員裁判の判決ロールプレイ」等11事例ある。	・中単元において，見開きごとにタイトルを「文化の意義と影響」「日本の伝統文化」「科学技術の発達と私たちの生活」「文化の継承と創造」の項目で示している。(P.24～P.33) ・「日本の伝統文化」の写真を見開きで掲載している。(P.28･P.29) ・身近な祭りを調べようと題し，4ページにわたり掲載している。 ・教科横断的な学習の充実に関する内容として，「やってみよう」で調べ方や社説の比較等調査の手法について具体的な課題を例に紹介し，「考えよう」では，地球温暖化問題等，持続可能な社会の実現にむけた課題を取り扱っている。	・本文中の資料の扱いについて，例えば「私たちと政治」における資料では，絵図，写真，地図，表・グラフ，新聞，年表を236掲載している。	・本文見開き2ページの右下で「まとめましょう」や「説明しましょう」の課題を出している。 ・多面的・多角的に考えさせる事例として，「やってみよう」が6事例，「考えよう」が4事例，「理解を深めよう」が8事例を設けている。 ・目的に応じて適切に表現させるために，単元末で，文章で説明させる問題を出題している。(P.170)

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　地図

	観点１ 基礎・基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む工夫	観点３ 内容の構成・配列・分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習、体験的な学習などを取り入れるなど、児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて、思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・世界の諸地域,日本の諸地域とも,様々な主題に対応するため,一般図,基本資料,テーマ資料がページを分けながら編纂している。 ・地図帳が,歴史的分野や公民的分野の学習にも活用できるよう,重要な歴史事項や地名が記載している。 ・主題図中に示された「ジャンプ」が関連事項の掲載ページを示しており,学習が進んだ段階においては,既習事項との関連付けに役立つようになっている。	・資料についての理解を促し,考察を深められるように読図のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを記載している。 ・世界の諸地域及び日本の諸地域の学習において,基本の資料のページに「チャレンジ」や各資料図には「読図の一歩」があり,地図を通して課題を見付けられるようになっている。 ・一般図のタイトル欄に,地域の特色への理解を深めるための「注目したい記号」を記載し,読図の視点を示している。	・「世界の環境問題」について4ページにわたり記載している。(P. 11-14) ・日本各地の郷土料理や方言区分,ご当地キャラクターが主題図として掲載している。(P. 154) ・全ての州,地域について一般地図,基本資料,テーマ資料で構成している。	・「一緒に世界旅行をする」という設定で子供と指導者のイラストを使用し,読図のための手掛かりを吹き出しで示している。 ・各一般図には,「この図の範囲」として,地球儀もしくは日本全図を小さく示している。 ・産業や土地利用の様子を地図記号だけでなく,図化したイラストで表現している。	・「一緒に世界旅行をする」という設定で子供と指導者のイラストが使用され,キャラクターが発言した問いによって,思考を促す工夫がある。

		・主題図中に示された「ジャンプ」が,関連事項の掲載ページを示しており,学びを広げ深めるため手立てとなっている。	・アフリカ州の一般図のページでは,ヨーロッパ州,アフリカ州の両州を見開きに示している。(P.49-50) ・世界・日本の世界遺産を主題図として掲載している。(P.155) ・我が国の領土について,地図帳の最終ページに示し,北端,南端,東丹,西端の島々に加え,我が国固有の領土の写真を掲載している。		

帝国	・世界の諸地域や日本の諸地域の特色について,様々な主題に対応するために主題図,各種資料を提示している。	・地図活用のスキルや読図に当たっての着眼点が身に付くように「地図を見る目」「やってみよう」として,学習活動を促す工夫がある。	・世界の環境問題を主題図として記載している。(P.13-14)	・我が国と歴的にも関わりの深い,朝鮮半島の一般図が見開き2ページで表されていたり,東アジアから見た視点からの日本の一般図のページを掲載したりしている。(P.29-32)	・「やってみよう」や「地図を見る目」などを一般地図や資料に設け,地図を見る際の着眼点や読図等の視点を示している。
	・地図帳が,歴史的分野や公民的分野の学習にも活用できるよう,重要な歴史事項や地名,その歴史事象の発生年などを記載している。	・京都,奈良,東京など修学旅行先として有名な都市の資料図には,各名所・旧跡のイラストを示している。	・伝統的な街並み,方言の違い,郷土料理を主題図として掲載している。(P.155)	・世界の諸地域の学習に係り,各州の一般図のページに加え,鳥瞰図のページを掲載している。	
	・学習課題として「地図をみる目」や「やってみよう」を示している。	・一般図に「地図をみる目」を設け,読図の視点を示している。	・世界の各州,日本の諸地域とも,一般地図のあとに,各種資料図を配置している。	・各一般図には,「この図の範囲」として,地球儀もしくは日本全図を小さく示している。	
		・世界の諸地域の学習において,各州の資料図に「日本との結びつき」を設けている。	・「アフリカ州」ではアフガニスタン,パキスタンの一部まで掲載し,ヨーロッパは地中海周辺国の一部を掲載している。(P.41,42)	・各州で「同緯度・同縮尺の日本」を表記し,日本の位置や面積の違いを示している。	

			・本州中央部の資料図に「街道の昔と今」のイラストと写真を掲載している。(P.103) ・我が国の範囲について,日本編の初めのページに示し,我が国固有の領土の写真を掲載している。	・産業の様子を地図記号イラストで表現することに加え,縮尺の大きな一般地図では,土地利用の様子の色分けに地図記号の模様が入っている。(例えば,P.89-90の果樹園,水田等)	

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　数学

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習、体験的な学習などを取り入れるなど、生徒の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて、思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・基本的内容が理解できたかどうかを確認するための問題がある。(1年P. 11, 2年P. 10, 3年P. 10等たしかめマーク) ・節末, 章末問題に基本基本の定着を確認する問題がある。(1年P. 16, 2年P. 20, 3年P. 20) ・巻末に補充の問題があり, 繰り返し練習することができる。(1年P. 236, 2年P. 184, 3年P. 224) ・「誤答例」を示している。 (1年P. 87等)	・「学び合い」では,「Ｑ考えてみよう」の学習に主体的に取り組むことができる活動について示している。 (1年P. 45, 2年P. 23, 3年P. 31) ・「活用の問題」では, 学習した内容を日常生活や単元横断的な問題に活用できるようになっている。(1年P. 244, 2年P. 192, 3年P. 232) ・各巻末には, 主体的に学ぶ機会を設定し, 関連する章を示す等, 配慮・工夫をしている。(1年1種類, 2年1種類, 3年3種類)	・目次には, 章ごとに小学校や前学年との関連を示している。 ・素因数分解を平方根と混合を含む式の計算の間に構成している。(3年P. 46, 47) ・２次方程式では, 先に平方根の考えを使った解き方を学習し, 後で因数分解による解き方を学習するという順番になっている。(3年P. 70-78)	・有名なスポーツ選手の新聞記事をもとにした問題がある。(1年P. 47) ・パラパラ漫画によって, 動きをともなう問題の把握ができるよう工夫している。(1年P. 177-205, 2年P. 93-117, 3年P. 99-115) ・索引にも図や絵がかいてあり, 用語との関連付けができるようになっている。(1年P. 280-282, 2年P. 225-226, 3年P. 270) ・具体物の絵など, 考察を助けるための挿絵がある。(1年P. 55)	・ノートのとり方や, レポートの作成方法が紹介している。(1年P. 50, P. 226, 2年P. 30, P. 89, 3年P. 36, P. 197) ・「学び合いのページ」では, 自分の考えを発表したり, 友達の考えを聞いたりする場面が設定している。(1年P. 45, 2年P. 23, 3年P. 31等)

大日本	・学習を始める手がかりとなる問題がある。(1年P.10,2年P.10,3年P.10【？】マーク) ・「学習のねらい」を示している。(1年P.10 , 2年P.10,3年P.10【三角】マーク) ・学習した内容を定着させる補充問題がある。(1年P.32,2年P.24,3年P.22等【練習】) ・「思い出そう」のコーナーがあり,下学年の学習等を振り返る問題等を示している。(1年P.16 , 2年P.10,3年P.32等【思い出そう】マーク)	・学習の進め方を示している。(1年P.7,2年P.7,3年P.7) ・「Mathful(マスフル)」のコーナーでは,生活の中に生かしている数学について,学んだことを活用して考えることができるようになっている。(1年P.262,2年P.202,3年P.238) ・巻末教具がある。(1年1種類,2年1種類,3年2種類)	・目次には,章ごとに小学校や前学年との関連を示している。 ・「Mathful(マスフル)」のコーナーで箱ひげ図に関する記載がある。(1年P.280) ・文字式の計算では,乗法,除法の計算を学習した後,加法,減法の計算を学習するよう構成している。(1年P78-83) ・連立方程式で先に代入法をして,後で加減法を習う順番になっている。(2年P.42-45)	・「社会にリンク」のコーナーでは著名人の写真とコラムが掲載してあり,学習内容と実生活との関連が意識している。(1年P.58) ・比例・反比例の動点の問題や１次関数の動点の問題で,動きに合わせた図がある。(2年P.96-97) ・仮定から結論に至る「証明のしくみ」が図示している。(2年P.130) ・索引に重要事項の記載のページが示している。	・「ノートのつくり方」では,ノートの工夫の例が示している。(全学年P.8) ・「研究をしよう」「レポートを書こう」等,レポートを例示し,書き方を説明している。(1年P.93-94,2年P.137-138,3年P.46) ・新たな規則や性質を見つけたり,自分の考えを伝えたりできるようマークがついている。(1年P.20,2年P.27,3年P.14等)

学図	・学習する内容の目標が示してある。(1年P.14等【目標】マーク) ・節末に既習事項の振り返りができる問題がある。(1年P.20,2年P.24,3年P.24等【確かめよう】【計算力を高めよう】マーク) ・巻末に基礎基本の定着を確認する問題がある。(1年P.277,2年P.222,3年P.266) ・「誤答例」が示している。(1年P.80)	・章の扉では,新しく学習することがらに対する活動や問いかけが示している。(1年P.12,2年P.12,3年P.13) ・数学的な考え方を解説している。(各学年P.8,9) ・巻末の「さらなる数学へ」では,学習したことがらをレポートにまとめたり,探究的な学習をするための内容が取り上げられたりしている。(1年P.258,2年P.194,3年P.236) ・実際に扱うことができる巻末教具がある。(1年1種類,2年5種類,3年2種類) ・各章の導入では,写真や挿絵等を取り入れ,多様な見方や考え方ができるよう配慮・工夫をしている。	・目次には,領域ごとに既習事項との関連を示している。 ・各領域の「章のとびら」の前には,振り返りのページがあり,既習事項の確認ができるようになっている。(1年P.10-11等)	・途中に見開きのページがあり,図が描かれている。(1年P.150) ・パラパラ漫画によって,図形の問題把握ができるように工夫している。(1年P.209-229,2年P.117-137,3年P.195-233) ・具体物の絵など考察を助けるための挿絵がある。(2年P.42等)	・巻末に協同学習のコーナーがあり,レポートの作成,発表の仕方が学年に応じた内容で説明している。(1年P.259-263,2年P.195-199,3年P.237-241) ・自分の考えを説明したり,みんなで話し合ったりする問題に「伝える」マークがついている。(1年P.18,2年P.14,3年P.38等)

教出	・各章のはじめに,既習事項を振り返る問題がある。(1年P. 10,2年P. 10,3年P. 10等) ・節末に「基本のたしかめ」問題があり,基本内容の定着状況を確認できる。(1年P. 19,2年P. 25,3年P. 23) ・巻末に「たしかめの補充問題」があり,繰り返し練習することができる。(1年P. 270,2年P. 218,3年P. 254) ・「誤答例」を示している。(1年P. 31,2年P. 19,3年P. 109)	・各章の最初には学習に関連する話題がある。(1年P. 11,12,2年P. 12,3年P. 12) ・巻末には「数学で大切にしたい考え方」として,いくつかの数学的な見方や考え方を取り上げて解説している。(1年P. 262,2年P. 200,3年P. 238) ・巻末教具がある。(1年2種類,2年1種類,3年2種類) ・既習事項を確認し,明確な学習課題を繰り返し取り上げている。	・各章の始めに既習事項の復習問題があり,系統的な構成になっている。(1年P. 10,2年P10,3年P. 10) ・素因数分解が因数分解と式の活用の間に構成している。(3年P. 32,33)	・索引に日本語と英語での表記がある。(1年P. 302～303,2年P. 243,3年P. 283) ・数学メモの欄を利用して,用語の補足を行っている。(1年P. 15,2年P. 14,3年P. 20) ・図形のまとめでは,3年間で学習した定理や性質について示している。(3年巻末)	・巻頭にノートのとり方の例を示している。(全学年P. 7) ・発表するときや話し合う時の注意点を示している。(全学年P. 7) ・問題に「伝えよう」「話し合おう」のマークを付け,話し合いの場面を設定している。(1年P. 23,2年P. 19,3年P. 33等)

啓林館	・各節の中の各学習項目に学ぶことや考えることを提示している。(1年P.15,2年P.15,3年P.14等) ・節末に既習事項の確認ができる練習問題がある。(1年P.22,2年P.21,3年P.29等) ・巻末に各章の繰り返し練習をする問題がある。(1年P.223,2年P.167,3年P.207【力をつけよう】) ・「誤答例」を示している。(1年P.41)	・各節に新しい学習のきっかけとなる問題を提示している。(1年P.14,2年P.15,3年P.14) ・巻末教具がある。(1年3種類,3年2種類) ・「学習の進め方」の中の言語活動や,自由研究等のコーナーがある。	・教科書は本冊と別冊「MathNaviブック」で構成している。 ・二次方程式で先に平方根の考えを使った解き方を学習して,後で因数分解による解き方を学習する順番になっている。(3年P.66-75)	・節ごとの学習のとびらのコーナーには挿絵や写真を掲載している。(1年P.12-13) ・用語のみでなく意味も色枠にしてある。(1年P.14) ・仮定と結論を終始同じ色で色分けしてある。(2年P.109-114)	・巻末の「学習の進め方」では,話し合いや発表の仕方,ノートの書き方を提示している。(全学年P.6-11) ・話し合いや伝える場面として「みんなで話あってみよう」「自分の言葉で伝えよう」を提示している。(1年P.13,2年P.13,3年P.12等)

数研	・各節に学習することがらとして「ここで学ぶこと」を提示している。(1年P. 14, 2年P. 16, 3年P. 16等) ・節末に既習事項の振り返りができる問題「確かめよう」がある。(1年P. 21, 2年P. 26, 3年P. 25等) ・巻末に各章の基本事項のまとめ, 応用力を高めるための問題がある。(1年. P239, 2年P. 187, 3年P. 229【ぐんぐんのばそう】	・各章の導入では, 新しく学習することがらに対して活動や問いかけを示している。(1年P. 12, 2年P. 14, 3年P. 14等) ・巻末の「数学探検」では, 探究的な学習を進めるための内容を取り上げている。(1年P. 225, 2年P. 175, 3年P. 215) ・巻末教具がある。(1年2種類, 3年2種類) ・既習事項を活用した説明させる問題がある。	・巻頭の「クイックチャージ」で既習事項の振り返りができる。(1年P. 4, 2年P. 4, 3年P. 4等)	・途中に見開きのページがある。(1年P. 177) ・具体物の絵など考察を助けるための挿絵がある。(2年P. 42)	・自分の考えを伝える問題には「伝え合おう」のマークが付いている。(1年P. 49, 2年P. 43, 3年P. 76等) ・ノートをとるときに注意する事柄を「NOTE」として示してる。(1年P. 56, 2年P. 43, 3年P. 76)

日文	・既習事項を思い起こすためのヒントになる問題がある。(1年P.11【ふりかえり】マーク) ・「くりかえしマーク」があり,補充問題がどこにあるか分かるようになっている。(1年P.23,2年P.21,3年P.31) ・章末に「章のくり返し練習」があり,基本内容の定着状況を確認できる。(1年P.52,2年P.31,3年P.40等) ・誤答を正しく直す問題がある。(1年P.34等)	・章のとびらでは,新しく学習することがらに対する活動や問いかけを示している。(1年P.10,2年P.10,3年P.10等) ・章末には「深める数学」や「生活への利用」として,学んだことを深めたり発展させたりするための課題等を示している。(1年P.56,2年P.34,3年P.44) ・巻末教具がある。(1年2種類,3年1種類) ・既習事項を活用して説明させる問題がある。	・目次には,章ごとに小学校や前学年との関連を示している。 ・章の扉の前に振り返りのページがある。(1年P.9等)	・用語のみでなく意味も色枠にしてある。(1年P.12) ・具体物の写真が多く,身近な空間図形との関連を示している。(1年P.192～217) ・五角形の外角の和が360°であることを図で表現している。(2年P.113)	・ノートの工夫では,わかりやすいノートの書き方を紹介している。(全学年P.8) ・「説明しよう」「話し合おう」のマークで,自分の考えを伝えたり,他人の考えを聞いたりする場面を設定している。(1年P.90,2年P.34,3年P.70)

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　理科

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習，体験的な学習などを取り入れるなど，児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて，思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・単元導入部で，既習事項と本単元の学習の流れを示している。（3年P.8他） ・各単元末には，「重要語句」，「確かめと応用」，「確かめと応用（活用編）」がある。（3年P.60-64）	・実験方法の過程を，段階ごとに大きな字で明示している。（3年P.29他）	・各単元末に「ニッポンの科学」があり，最先端科学を紹介している。（1年P.192他） ・「科学でGO!歴史大陸」という見出しで，日本の伝統や文化に関わる記述が写真等を用いて掲載している。（2年P.57他） ・教科書の最後に科学技術の未来についての記載がある。（全学年） ・見開きの中央部分に文章が配置され，そのまわりに図や写真が配列している。（3年P.52-53他）	・1年生のみ文字が大きくしてある。（1年P.71他） ・一つ一つの実験操作にしきりがある。（3年P.51他） ・特徴的で学習に有効な写真や図が第1学年で11カ所に見られた。（1年P213他）	・ノートの書き方，話し合いの仕方，発表の仕方などを紹介している。（1年P.6-7他） ・レポートの書き方については，各学年でレポートの全体を例示して，要点を示している。（１年P.23,P.74他） ・観察，実験の結果を分析・解釈する手がかりとして，観察，実験のページに結果の見方を例示し，考察のポイントを示している。（3年P.131他）

大日本	・各単元末に基礎的・基本的な内容を，キーワードごとにまとめている。また，「単元末問題」「読解力問題」がある。（3年P.192-196） ・単元導入部で，既習事項と本単元の学習の流れを示している。（3年P.202-203他）	・実験方法の過程を，段階ごとに四角で囲んで明示し，生徒が参照しながら実験が行われるようにしている。(3年P.151他) ・各単元末に「終章」を設定し，その単元に関わる発展的内容を，問題解決的に扱う具体的事例を示している。（3年P.108-109他）	・「トピック」という見出しで，日本の伝統や文化に関わる記述について，写真等を掲載し扱っている。（2年P.55） ・「科学史」という見出しで，細胞の発見などの科学に関する歴史についての記載がある。（2年P.88他）	・特徴的で学習に有効な写真や図が第1学年で8カ所に見られる。(1年P.257他) ・実験結果が表や写真を使って簡潔に示している。(1年P.44,P.52)	・観察・実験の後，本文で「実験結果」「結果からわかること」を明示している。(3年P.184他)　また，結果については「結果の例」という表記で明示している。（2年P.172他） ・実験用具等を説明する「基本操作」の中に「実験ノートの書き方」が説明してあり，トピックで「実験ノートの重要性」を紹介している。(1年P.73)
学図	・単元導入部で，既習事項と本単元の学習の流れを示している。(2年P.142-143) ・各単元末には，「学習のまとめ」，「単元末問題」，「活用に関する問題」の他に，教科書の最後に「中学校理科の総まとめの問題」がある。（3年P.70-72,P.302-308）	・教科書の最後には学習の参考となる「資料」が充実している。（3年P.290-301）	・単元内容が1分野と2分野に分かれた配列になっている。 ・コラム「科学の窓」や各単元末の「科学を仕事に活かす」において，学習内容と関連する日常場面，環境，職業，科学史を取り上げている。（3年P.176他） ・「チャレンジ」という内容の中で，課題が他教科と関連するように取り扱われている。(2年P.268)	・特徴的で学習に有効な写真や図が第1学年で10カ所に見られた。(1年P.191他) ・「観察・実験の進め方」を簡潔に表現している。（2年P.50-51） ・実験の目的の文章で課題を意識した見出し（～しよう）になっている。（3年P.77）	・　レポートの書き方については，第１学年でレポートの全体を例示して，要点を示している。(1年P.14-15)同じ内容を第2学年，第3学年で示している。 ・　「？問い　活用　表現」で，習得した知識を活用して文章，図などで表現する問題がある。(3年P.85) ・実験結果，考察について，その後の本文で，結果例と考察内容を記述している。（3年P.90）

教出	・単元導入部で，既習事項と本単元の学習の流れを示している。（3年P.46-47） ・各単元末には，「要点」，「重要語句」，「基礎・基本」，「活用・応用問題」を設けている。（3年P.40-45） ・教科書の最後には，「学年末総合問題」，「中学校総合問題」がある。（3年P.264-271）	・教科書の最後の「自由研究」の中に，問題解決の過程を取り上げている。（3年P.272-274） ・巻末の「自由研究」の中に，問題解決の過程を取り上げている。（1年P253～P255） ・ 問題解決学習を進め易くするため，「調べよう」「話し合おう」「考えよう」「活用しよう」のマークで示している。(2年P69～P71)	・単元内容が1分野と2分野に分かれた配列になっている。 ・コラム「ハローサイエンス」において，科学と実生活の関連，環境，科学史などについて取り上げている。(2年P.109他) ・教科書の最後の資料で，施設や科学史を紹介している。（3年P.292-293）	・特徴的で学習に有効な写真や図が第1学年で7カ所に見られた。(1年P.225他) ・科学用語(重要語句)を赤色の太字で示している。（3年P.126-127）	・レポートの書き方については，第１学年でレポートの全体を例示して，要点を示している。(1年P.7) ・「活用しよう」では，既習事項を活用して，根拠を述べ説明する場面を設定している。（1年P.23） ・実験結果と考察を分けて記述している。実験結果を表や図にまとめている。(1年P.38-39)

啓林館	・単元導入部で，既習事項と本単元の学習の流れを示している。（3年P.83-84） ・各単元末で，学習内容のまとめを設けている。（3年P.134-135）また，「マイノート（問題集）」が別冊でついており，用語，観察・実験，要点の確認ができる。 ・各章のはじめに設けている「ふり返り」は，これからの学習内容につながる既習事項を図や写真を用い示している。（3年P.86他） ・学習内容に関連して，既習事項を振り返る場面を設定している。（3年P.114）	・実験方法について，段階ごとの過程を最初に明示し，生徒が参照しながら実験が行えるようにしている。(3年P.114-115) ・実験方法について，段階ごとの過程を「ステップ」表示し，生徒が参照しながら実験が行えるようにしている。 (2年P128～P129) ・観察・実験では，目的，方法，結果，考察を区別し探究の流れがある。（2年P98～P99）	・単元は，1分野と2分野に分かれた配列になっている。 ・日本の伝統や文化に関わる記述が「先人の知恵袋」として図や写真を掲載し扱っている。（3年P.214他） ・教科書の最後に「理科でよく使う算数，数学」という他教科と関連している記載がある。(2年P.264) ・見開きの中央部分に文章を配置し，そのまわりに図や写真を配列している。（2年P.54-55,3年P.160-161）	・特徴的で学習に有効な写真や図が第1学年で11カ所に見られた。(1年P.101他) ・図，表，グラフの表記を大きく示している。（3年P.160-161） ・生徒が行う実験・観察のタイトルの文章は課題を端的に示し体言止めで表現している。（2年P.163他）	・「わたしのレポート」で具体例を掲載し，朱書きで解説している。（1年P.98,P.126）また，「レポートのまとめ方」を掲載している。（1年P.232-233） ・「理科における話し合いと発表」を掲載している。（1年P.256-257） ・別冊「マイノート」に，話し合う内容について，自ら書き込んで表現する場面を設定している。（1年マイノートP.12） ・実験では，個々の結果と考察を対応させながらまとめ方を示している。また，本文中の考察は，根拠（実験結果）を示すように記述している。(1年P.145-146)

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　音楽（一般）

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習、体験的な学習などを取り入れるなど、生徒の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて、思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
	・発声と声変わりについて，「Let’s　sing」として扱っている。 （1年P.6,7,12,13）	・「Let’s　try」では，声や身近な楽器を取り入れたり，指揮の体験を通して，拍子や強弱，フレーズのまとまりを体験的に学習することができる。 （１年P.22,54） （2・3年上P.20,38） （2・3年下P.16,42-45）	・共通教材の扱いは，様々な音楽文化，「日本とアジア」「日本と世界」，音楽の要素の順に構成している。 （１年P.16,20） （2・3年上P.12,16,18） （2・3年下 P.14,18,19 ［音楽の要素でも扱っている］）	・①楽典，②鑑賞について，折りこみでカラーの見開きページを加えている。 （各学年P.84） （１年P.40） （2・3年上P.32） （2・3年下P.32）	・表現・鑑賞領域において考えや工夫したこと，知覚・感受したこと批評したことなど直接記述できるようにしている。 （１年P.23,33,45） （2・3年上 P.29,31,37,51） （2・3年下 P.25,26,31,41）
	・音楽を形づくっている要素を1ページで示し，楽曲を聴いてそれらの働きに注目させるようになっている。 （1年P.62） （2・3年上P.56） （2・3年下P.48）	・創作では，「音のスケッチ」において系統的・発展的に学習できるようになっている。また，生徒が創作した作品を直接記入することができる。 （１年P.52,56,60） （2・3年上P.48,50） （2・3年下P.40,46）	・国歌「君が代」は，各学年2ページ掲載しており，歌詞の大意を記述しているほか，客観的事実として「さざれ石」の写真を掲載している。 （各学年P.82）	○生徒にとって ・鑑賞「展覧会の絵」では，ガルトマンの絵を，2ページにわたって掲載している。 （2･3年上P.46）	・意見を交流し，作品のよさや面白さを共有する場面を設定している。 （１年P.25） （2・3年上P.49,57） （2・3年下P.41,53）

教出	・創作を「音のスケッチ」として，創作過程の形式を段階的に扱っている。 リズム，言葉の抑揚（1年P.52,56,60） 動機を生かした旋律・構成の工夫 （2・3年上P.48,50） CMソング創作・自由に構成 （2・3年下P.40,46） ・学習の目標が左ページ端，共通事項が右ページ端に示している。 （1年P.11,19,27,29,35） （2・3年上P.23） （2・3年下P.15） ・楽典を，巻末に3ページにわたって示している。また，どの曲で扱われたか掲載ページを示している。 （全学年　P.84）	・創作では，「チャレンジ」課題を設定しており，意欲的に学習できるようになっている。 （１年P.57,61） ・鑑賞曲においては，比較聴取，関連鑑賞教材を設けている。 （１年P.25,37,45,51） （2・3年上P.29,47） （2・3年下P.27,39 ）	・「ブルタバ」（1年P.48）社会科歴史 ・「雅楽」（2･3年上P.33）社会科 ・「歌舞伎」（2･3年上P.34-35）社会科・国語科 ・「能」（2･3年下P.33-35）社会科・国語科 ・「文楽」（2･3年下P.36）社会科・国語科 ・「展覧会の絵」（2･3年上P.44-47）美術科 ・「音ってなんだろう？」（1年P.64）理科	・鑑賞のページの右端に音楽史の区分がつけてあり，該当曲がどの時代のものか，印をつけている。（鑑賞曲の各ページ） 〇親しみやすい表現 ・同世代のキャラクターを用いて，生徒に工夫するポイントなどを呼び掛けている。	・鑑賞のなかで，「伝えてみよう」として扱っている。 （1年P.63） （2・3年上P.57） （2・3年下P.49）

教芸	・発声について「My Voice」として3学年にわたり，段階的に扱っている。 （1年P.8,9） （2・3年上P.15） （2・3年下P.15）	・「Greade up」では，楽曲の構成等を理解し，段階的に学習できるよう工夫している。感じたことや工夫したことを直接記入できる。 （１年P.12,20,28） （2・3年上P.10,17,26） （2・3年下P.11）	・共通教材の扱いは，「心の歌」，様々な音楽文化，「日本」から「アジア」「世界」の音楽の順に構成している。 （１年P.16,24） （2・3年上P.12,20 ） （2・3年下 P.4,12,22）	・表表紙，裏表紙のすぐ内側にカラーの写真ページ大きく載せている。（各学年，表表紙，裏表紙のすぐ内側）	・表現・鑑賞領域において考えや工夫したこと，知覚・感受したことを直接記述できるようになっている。 （１年P.28,29,38） （2・3年下P.31）
	・変声期について解説している。 （1年P.19）	・創作では，「My Melody」において旋律をつくる活動，「Let’s Create」においては構成を工夫しながら音楽を作る活動として取り上げている。生徒が創作した作品を直接記入することができる。 （１年P.31,48,49） （2・3年上 P.28,29,30,31）	・国歌「君が代」は，各学年1ページ掲載しており，歌詞の大意をページの下に記述している。（各学年P.80）	・音楽学習MAPで，1年間で何を学習するのか，何を身に付けていくのかが一目で分かるようになっている。また学習の窓口で示しているカラーの記号で，音楽の諸要素の何をポイントに学ぶのか確認できる。 （目次の次ページ）	・グループで話し合う活動を取り入れている学習内容がある。 （１年P.31） （2・3年上P.29-31） （2・3年下P.27-29） また，話し合うポイントを示している。 （2・3年上P.10）
	・創作を「Let’s Create」「My Melody」として扱っている。 「Let’s Create」 イメージ創作（1年P.30） リズム創作（2・3年上P.30） リズムアンサンブル創作（2・3年下P.28） 「My Melody」 日本の音階で旋律創作（1年P.48） 和音（2・3年上P.28,29） 言葉の抑揚（2・3年下P.26,27）	・鑑賞では，比較聴取教材を設けている。また，「発展的学習」として，掲載されている楽曲が作曲された時代の日本音楽文化を捉える学習活動として記載している。 （１年P34,39） （2・3年上P33,37,40） （2・3年下P32）	・「四季」（１年P.34）社会科地理 ・「雅楽」（2･3年下P.36-37） ・「歌舞伎」（2･3年上P.42）社会科・国語科 ・「能」（2･3年下P.40）国語科・社会科 ・「ブルタバ」（2･3年下P.32）社会科歴史 ・「文楽」（2･3年上P.46）社会科・国語科	・キャラクターを用いて，生徒に工夫するポイントなどを呼び掛けている。	・吹き出しに活動の指針となる問いかけを記している。 （１年p11,12他）

	・学習の目標を左上に示している。 ・楽典を音楽の約束として巻末に示している。 （1年P.76-79） （2・3年上P.77-79） （2・3年下P.73） ・音符，音楽記号，リズムについての学習においてゲーム的要素を取り入れており，反復学習ができるようになっている。 （１年2・3年上P.6,7） （2・3年下P.8,9）				

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　音楽（器楽）

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習、体験的な学習などを取り入れるなど、生徒の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて、思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
教出	＜リコーダー＞ ・姿勢，構え，奏法を示している。（P.4,5） ・タンギングの方法，種類について，図と表で示している。 ・チューニングについて記述している。（P.7） ・運指を楽譜のすぐ横に示している。 （P.6,7,8,10,12,14,15,16） ・息のコントロールについて，腹式呼吸の方法を記述している。(P.15) ・アーティキュレーションの説明と奏法を紹介している。(P.16,17) ・トリルの奏法，替え指を楽譜と同じページに示している。(P.18) ＜ギター＞ ・名称，姿勢，構え，奏法を示している。（P.20-22） ＜和楽器＞ ・箏，三味線，篠笛，太鼓，尺八を扱い，構造，構え，奏法，運指を示している。 （P.30-32,P.40-43,P.50-51,P.54-57,P.62-63）	・「音楽のスケッチ」では，創作活動と関連させながら活動できるよう設定している。（P.7,37）	・7種類の楽器の基本的奏法，練習曲を掲載しており，国内外の伝統や文化を意識することができる。 ・和楽器の中では，箏に重点を置いており，ページ数も多い。 （箏…P.30-39） ・手作りの横笛を製作する活動が掲載されており，技術・家庭科（技術分野）と関連している。 （P.49）	・リコーダー運指表，ギターコード表(P.99)について，折りこみでカラーの見開きページが加えられている。 ・各楽器について，構え方や，演奏の仕方など，大きめに写真を載せている。 ・生徒と年齢の近い演奏家をピックアップして，親しみをもたせている。(表表紙) ・同世代のキャラクターを用いて，生徒に工夫するポイントなどを呼び掛けている。	・掲載されている楽器の代表的な作品を紹介しており，鑑賞後に批評文（紹介文）を交流する活動を取り入れている。（P.18） ・吹き出しに演奏法のポイント等を示している。 （P.33,37）

教芸	＜リコーダー＞ ・構造，名称，構えが示されている。(P.3-5) ・チューニングの必要性，方法について記述している。（P.4） ・アーティキュレーションについて，奏法と方法をまとめて示している。(P.9) ・タンギングについて文章と図で解説している。 (P.6) ＜ギター＞ ・構造，姿勢，構え，奏法を写真入りで示している。 (P.18-20) ＜和楽器＞ ・箏，三味線，太鼓，篠笛，尺八を扱い，構造，調弦，姿勢，構え，奏法，の順で示している。 （P.24-27,P.30,P.33-35,P.38-41,P.42,43,44,45） ＜ラテン楽器＞ ・12種類の楽器の奏法を示している。（P.46-49）	・演奏する上でのポイント等をQ&A形式で標記している。 （P.6,10,11） ・各楽器において「音を聴いて確かめよう」として，音色に着目して聴く活動を取り入れている。 （P.7,19,27,36,41,43他）	・8種類の楽器の基本的奏法，練習曲を掲載している。 ・打楽器に関しては，その中でも12種類の奏法を解説しており，基本的な奏法を身に付けるための練習リズムも掲載している。(P.46～P.49) ・和楽器の中では，箏にページをさいている。 （箏…P.24-31） ・巻末には日本の伝統芸能を比較表示しており，社会科歴史と関連している。	・目次の前のカラーページで，リコーダーやギターが大編成の中で活躍する編成の写真（口絵3）や，尺八・篠笛の様々な大きさの写真（口絵4）を掲載している。 ・アンサンブルの曲が充実しており，打楽器の曲も多く紹介している。 （P.76-79，P.54-55 ） ・生徒と年齢の近い演奏家をピックアップして，親しみをもたせている。(表表紙) ・キャラクターを用いて，生徒に工夫するポイントなどを呼び掛けている。	・「ここがわかればGrade up」では，友だちと話し合いながら，アーティキュレーションを工夫している。（P.51）

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　美術

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む 工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	教科の基礎的･基本的な内容を確実に定着させるために，指導内容の創意工夫がなされているか。	問題解決的な学習・体験的な学習を取り入れるなど，生徒の興味・関心を生かし，主体的な学びを引き出す工夫がなされているか。	伝統や文化についての教育や理数教育の充実等，これからの学習指導を効果的に進める上で，適切な内容の構成・配列・分量となっているか。	さし絵・地図・図表などの資料等が有効に使われ，生徒にとって親しみやすい表現・表記になっているか。	教科の特質に応じて，思考力・判断力・表現力育成に資するための言語活動の充実に対応した創意工夫がなされているか。
開隆堂	・題材ごとに振り返りの観点別評価項目を示している。 (美1：P.9他) (美2･3：P.17他) ・基礎的な技法や知識などの習得したい内容を明確に提示している。 (美1：P.23他) (美2･3：P.15他)	・問題解決型の学習プロセスをはっきり示している。 (美1：P.5-7) (美2･3：P.69,71) ・地域との関連について掲載している。 (美1：P.46) (美2･3：P.69)	・美術1のP.16，美術2･3のP.6が関連ページである。 ・絵巻物の紹介では，右から左へ読む絵巻物の形式に合わせて，右ページから戻るように画面を読み進められるようになっている。 (美2･3：P.38-43) ・伝統文化を知ることから，実際に生活に生かすことができるようになっている。 (美1：P.40-43) (美2･3：P.50-51,P.68-69,P.88-95) ・美術1は表現87%，鑑賞13%。美術2･3は表現76%，鑑賞24%。作品総数：473。	・表紙は美術館の写真が選ばれ，地域や人々と美術の関わりを意識することができる。 ・原寸大で鑑賞できる作品コーナーがあり，小さい図版では気付かない様な細かい表現まで見取ることができる。 (美1：P.26-27) (美2･3：P.22-23,46-47) ・変化に富む紙面の工夫がなされ，4ページ見開きで掲載されている。 (美2･3：P.99-102) ・各題材において授業の流れに沿った系統立てた表記になっている。 (美2･3：P.12-17他) ・参考作品の絵が多い。	・鑑賞の学習を重視し,折り込みページの活用や大型図版を掲載している。 (美1：P.11-12他) (美2･3：P.6-8他) ・鑑賞学習の充実と鑑賞のきっかけとなる「問いかけ」の設定によって，言語活動を促進させるようにしている。 (美1：P.10他) (美2･3：P.9他)

光村	・各題材で身に付けたい力を「目標」として示し，学習後に達成状況をチェックする欄を設けている。 (美1：P.8他) (美2･3：P.8他)	・全題材について「Q」が入り課題設定のヒントがある。また，「学習を支える資料」が載っており，問題解決のための情報収集の一部になる。 (美1：P.46-67)	・美術1のP.21，美術2･3のP.22が関連ページである。	・原寸大で鑑賞できる作品コーナーを設けている。 (美1：P.42-43) (美2･3：P.24-25,P.76-77)	・各冊巻頭の「感じたことを話し合おう」では，作品を見て，思いや考えを説明し合う活動を意図し，図版を大きく掲載している。
	・発想を広げたり構想を練ったりする際のヒントを示し，基本となる事柄を掲載している。 (美1：P.10他) (美2･3：P.11他)	・一日の生活との関連について掲載している。 (美2･3：P.5-7)	・領域の位置づけが明確に把握できる。	・見開きページの表記が美しく，内容が豊富である。 (美1：P.22-27) (美2･3：P.41-44他)	・作品を鑑賞し形･色･材料･光などのことや，それらがもたらすイメージについて考える問いかけをし，話し合う活動を設けている。 (美1：P.12他) (美2･3：P.8-9他)
			・作者の思いを伝えることを重視しており，作品の解説が多い。	・作者の言葉を豊富に掲載している。 (美1：P.10他)	
			･美術1が表現82%，鑑賞18%。美術2･3は表現84%，鑑賞16%。作品総数：456。	・生徒作品や制作手順を掲載している。 (美1：P.10他) (美2･3：P.11他)	

日文	・題材ごとに「学びのねらい」を示しどんな力が付いたか確かめながら学習を進めるようにしている。 (美1：P.8他) (美2･3上：P.8他) (美2･3下：P.8他)	・「資料」を掲載し,問題解決のための収集の一部となっている。 (美1：P.33) (美2･3上：P.38-39) (美2･3下：P.33)	・美術1のP.48-49，美術2･3上のP.26-29，美術2･3下のP.24-29が関連ページである。	・A4ワイド判のサイズである。	・「鑑賞との出会い」ではテーマを設け，言語活動の充実を図るようにしている。 (美1：P.18-19)
	・学習内容のポイントを題材ごとに示している。 (美1：P.8他) (美2･3上：P.8他) (美2･3下：P.9他)	・学校生活との関連を掲載している。 (美術1：P.12-13)	・浮世絵を原寸大で和紙に刷って掲載し，触覚と視覚を働かせて鑑賞できる。 (美2･3上：P.26-29)	・分野別の構成と系統性のある題材を配列している。	・教科書美術館のページを設けている。 (美1：P.24-29) (美2･3上：P.24-31) (美2･3下：P.24-29)
			・伝統文化の技法を紹介している。 (美2･3上：P.53-54他)	・全ページを通して授業がイメージしやすい紙面構成になっている。 (美2･3上：P.16-17他)	・大きな図版や具体的な作品解説，作者の言葉を多く掲載したことで，発想･構想のヒントになり，言語活動の充実につながる。 (美1：P.18他)
			・８面構成で浮世絵･仏像を紹介している。 (美2･3上：P.24-31) (美2･3下：P.24-29他)	・様々な材料や技法を用いた作品の解説などが整理されている。 (美2･3上：P.1-4)	
			・美術１が表現84%，鑑賞16%。美術2･3年上下は表現78%，鑑賞22%。作品総数：469。	・作者の言葉が豊富に掲載されている。 (美1：P.9他)	

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　保健体育

	観点１ 基礎・基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む 工夫	観点３ 内容の構成・配列・分量	観点４ 内容の表現・表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習，体験的な学習などを取り入れるなど，児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて，思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・「今日の学習」において単元の流れを確認している。 ・毎時の授業のキーワードが明示してある。（P.6他 ※キーワードの解説はP.165-169） ・用語の補足説明が側文にある。（P.6他） ・各章の終末に，２ページの「確認の問題」「活用の問題」と１ページの「学習のまとめ」がある。「学習を振り返ろう」では知識の定着状況について自己評価できるようにしてある。（P.30他）	・毎時間の授業を「やってみよう　※自分の日常経験や，小学校で学習したことなどをもとに」⇒知識の習得⇒「考えてみよう　※学習したことをもとに」⇒「生かそう　※さらに自分で調べたりする」の一連の流れとして構成している。 ・調べたりする課題やロールプレイングなどの作業課題を設定している。 ・教科書に書き込めるように工夫している。 ・多くのページに「読み物」として興味・関心を刺激する内容を掲載している。（P.11他）また，著名人や体験者からのメッセージ，課題や話題などがある。（P.29） ・各ページの下に，学習内容に関連したクイズを掲載している。	・各章のはじめに章の見通しを持たせる説明や小学校で学んだことと中学校で学ぶこと，また「高校で学習すること」を書いている。 ・社会情勢の変化に対応した今日的な内容を取り上げている。（P.72） ・他教科や他のページとの関連を示している。 ・章末資料によって学習内容を本編と関連され，発展的な資料を掲載している。（P.28他）	・資料を読み取るための「ポイント」がある。（P.15他） ・毎時の学習内容をイメージさせる挿絵がある。（P.6他） ・科学的な理解の一助として，資料がカラーで精密である。 ・思考を深めるための「キーワード」「リンク」「ポイント」「他教科」「Ｄ」などの表示がある。（P.6,7他） ・太文字にはふりがながある。（P.48他）	・ディスカッション，課題学習，ブレーンストーミング，ロールプレイング等の学習方法をイラストを交えて掲載している。（P.2-3） ・「考えてみよう」で具体的な課題を設定してある。（Ｐ.5-6他） ・章末にある活用の問題では協働的な学習ができるような設問となっている。（P.61他）

大日本	・毎時間の終末にキーワードを示している。（P.5他） ・毎時に「学習課題」や「考えよう」を提示し，見通しがもてるようになっている。 ・各章の終末に「学習のまとめ」として「重要な言葉」のまとめがある。 ・側文に重要用語の説明がある。（P.48他） ・説明文は簡潔にまとめられており，重要な言葉は太字にしている。	・毎時の授業が「考えよう」⇒知識の習得⇒「学習を活かして」の一連の流れとしている。 ・「今日の学習課題」が問いかけで明記している。（P.58他） ・「トピックス」や「ミニ知識」など学習内容と関連して考えを深めることができる。（P.34他） ・章末の資料では，「重要な言葉」「学習の要点」が記載している。	・各章のはじめに章の見通しを持たせる説明がある。 ・社会情勢の変化に対応した今日的な内容を取り上げている。(P.96) ・他の関連ページを明示している。	・伝えたいことがよく分かるように実写を使っている。(P.96) ・説明が必要な図表等については赤色で囲った説明がある。（P.46他） ・科学的な理解の一助として，資料がカラーで精密である。	・「学習を活かして」により，学習の振り返りをさせ，生活と結び付けている。（P.65他） ・事例を用いたロールプレイングの学習内容を掲載している。(P.129) ・事例を用いて，スローガンを作成する活動を記載している。（P.129）
大修館	・毎時間，疑問「Question」を提示し，課題意識をもたせ本時の学習目標や学習内容を明確にしている。 ・各章の終末に「学習のまとめ」を明示している。（P.84他） ・本文の追加説明が側文にある。（P.46他） ・毎時の授業のキーワードを明示している。（P.78他）	・毎時の授業が「Question」⇒知識の習得⇒「Try」の一連の流れとしてある。（P.86-87他） ・「Try」で，実生活に当てはめて考える課題を明示している。（P.59他） ・身近で興味深い内容等が「Topic」「事例」「コラム」として掲げてある。（P.37他） ・「challeng]では，実生活で活用したり，思考する内容を明記している。（P.129他）	・各章のはじめに章の見通しを持たせる説明がある。 ・前半に体育編，後半に保健編として構成している。 ・単元毎に「学習のまとめ」と関連ページを明示している。（P.66,84他） ・口絵で生涯のスポーツライフを分かりやすく説明している。（口絵P.3-4） ・社会情勢の変化に重大な今日的な事案が掲載している。	・自分の身近な生活に関わる内容を「コラム」で明示している。（P.95他） ・「Question」にイメージしやすいように挿絵がある。(P.26他) ・科学的な理解の一助として，カラーで精密な内容にしている。 ・欄外に項目に関連した「URL」を明記している。（P.93他） ・口絵に関連ページがありイメージをもたせる記載がある。（口絵P.5他）	・「Try」では，生活にかかわる内容が明記されている。 ・本文の「活用」表示の部分では書き込みスペースが用意されている。(P.55など) ・「challeng」で自分の考えをまとめたり，書いたりすることができる。（P.29他）

学研	・習得すべき基本用語を「キーワード」として掲載し，本文中に太文字で示している。 ・「学習の目標」が提示してあり，学習の展開への見通しができている。 ・各章の終末に，２Ｐの「章のまとめ」があり，用語の確認，基礎，活用にかかわる問題がある。（P.82他） ・本文の追加説明を側文に「資料」として明記している。（P.36他）	・毎時の授業が「ウォームアップ」⇒知識の習得⇒「活用しよう」の一連の流れとしてある。（P.42他） ・「探求しようよ！」では，生活に密着した学習内容を取り上げている。（P.80他） ・「コラム」として，学習内容に関連した資料を掲載している。(P.37他)	・各章のはじめに見開きで章の見通しを持たせる説明と「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」があり，トピックスがある。(P.8他) ・社会情勢の変化に重大な今日的な事案が多種にわたって掲載してある。(P.68) ・他の関連ページを明示している。	・科学的な理解の一助として，資料がカラーで精密である。 ・「ウォームアップ」にグラフや挿絵がある。(P.12他) ・言語活動の場面には「言語」と表示がある。（P.11他） ・情報サプリとして学習内容に関連したミニ知識を明記している。（P.10,12他）	・章末の「探求しようよ!」「章のまとめ」の活用の問題では協働的ができるような設問となっている。(P.83) ・言語活動につながる「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」では「考える・判断する・話し合う」などの表示がある。(P.10-11他)

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　技術・家庭（技術分野）

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習、体験的な学習などを取り入れるなど、児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて、思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・各節ごとに目標を示し,節末に振り返り,問題を掲載し,学習の定着を図っている。 (P. 20-21,他)	・学習の始めに「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」「実験」「観察」という活動を設定している。	・伝統･文化に関する内容が記載され,アイコンが付いている。（P. 10,61,68,73,86他）	・イラストや写真,キャラクターを取り入れている。 (①,P. 23,154,他)	・生徒のワークシートやレポートの例を示している。 （P. 83,89,139,145,189他）
	・基礎的な技能は,「基礎技能」としてまとめてあり,作業手順や道具の使い方,注意点等が写真やイラストで示している。 (P. 54-73,111,他)	・「技術分野のガイダンス」を設け,３年間の学習の見通しをもたせるようにしている。（P. 6-17）	他教科との関連,発展的な内容についてもアイコンで示している。 (P. 19,24,129,131他)	・ユニバーサルデザインフォントを採用している。	・「話し合ってみよう」「考えてみよう」等の活動が設定されている。 (P. 82,96,154他)
	・各編末に「学習のまとめ」を見開きで設け,学習状況を自己評価できるように設定している。(P. 90-91,146-147,190-191,254-255) ・「技術分野」の学習内容を防災・減災に役立てるように「防災手帳」としてまとめている。 (巻末)	・学習内容と関連する日本の技術や技術者を紹介する「技術の匠」を掲載している。 （P. 61,73,他） ・編末にレポートを例示し、評価・活用する活動を設定している。 (P. 89,145,189,253)	・最初のページに目次を配置し,学習内容を見通せるようにしている。（①-②）	・学習内容に関して,安全への配慮や参考になる資料等17種類の学習内容について関連したマークを活用している。	・「製図」や「プログラム」など,技術分野特有の言語が示され,その後の学習内容に使われている。 (P. 44,P. 238) ・学習のまとめごとに「ふり返り」を設定し,各内容の終わりには「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」と設定している。(P. 90)

教図	・基礎的な技能や知識は,「基礎技能」や「基礎技能・知識」としてまとめてあり,イラストや写真を活用して示している。（P.39,41,43,45,47,159,161他） ・各章末に「まとめ」と「章末問題」が見開きで設けられ,学習内容の定着を図るとともに,学習状況を自己評価できるようにしている。(P.90-91,144-145他)	・本文中に「調べよう」「やってみよう」「考えよう」「実験」を記載している。(P.20,28,86,108他) ・ガイダンスとして「序章」を設けている。（P.2-8) ・評価・活用について,章末に特定のテーマを示している。(P.86-89,140-143他)	・伝統と文化に関する写真を掲載している。（P.57,86他） ・製作・実習内容がスモールステップで示してある。(P.223-226) ・学習活動やポイントをマークで示している。（P.11）	・学習内容に関する資料,安全への配慮等4つの学習内容について関連したマークを活用している。(P.54,103,116他) ・作業工程や実生活に関する写真を掲載している。(P.24他) ・生徒が教科書を見ながら製作できるように写真で製作工程を示している。(P.70-71, P.76-79)	・アイディアシートの作成と製作（P.65）,栽培計画表の立案（P.186）,プレゼンテーションの作成(P.235)などの言語活動を設定している。
開隆堂	・各節ごとに目標を示している。(P.4他) ・章各節ごとに目標が示されている。また,振り返りとまとめを掲載(Aは除く)し,学習の定着を図っている。(P.133-134他)	・「考えてみよう」「調べてみよう」「実験」「参考」「探究」を記載している。（P.22他） ・「ガイダンス」が設けられ,小学校までの学習内容との関連を示し,3年間の学習の見通しを持たせている。（P.2-15） ・各学習内容が,「知る」,「できる」,「考える」で構成している。（P.4-5） ・評価・活用を章末に示している。(P.90)	・各章ごとに歴史資料として「年表」で技術の発展を示している。(P.2-3,20-21,92-93,他) ・発展的な内容や他教科等との関連についてアイコンを付けて示している。(P.27他)	・カラーユニバーサルデザインである。 ・生徒が自分の視点から見た写真や図版を使用している。(P.55他) ・各ページに「豆知識」を掲載している。 ・資料や等,安全への配慮,他との関連など15種類の学習内容について関連したマークを活用している。	・各節の始めに,「調べてみよう」「考えてみよう」などの導入課題を設けている。(P.22他)

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　技術・家庭（家庭分野）

	観点１ 基礎・基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む工夫	観点３ 内容の構成・配列・分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習,体験的な学習などを取り入れるなど,児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○児童にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて,思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東京書籍	・基礎的な技能は,基礎技能のページに写真や図入りで示している。(P.52-57,120-125,156-161)野菜の切り方は一連の流れを示している。(P.54)まつり縫い,スナップ付けは,手順に沿った写真を示している。(P.124-125)	・各節ごとに目標や「動機付けの発問」を示し,生徒が課題意識を持って学習に取り組めるようになっている。 P.22,24,26,28,30,32,38,42,44など)	・伝統や文化の内容に「伝統・文化」のマークを表示している。 (P.23,41,57,85-89,108-111,123,125,132-133,139,149,153,160-161,210-211,250,257)	・実物大の野菜,果物,幼児の靴や箸の写真を掲載している。(P.36-37,186)	・自分の思いや気付きを伝え合う活動「話し合ってみよう」やロールプレイング等の言語活動を取り入れた活動例や実習例がある。 (P.28,141,200,216,247,255)
	・身に付けた基礎技能を活用する練習題材(実習例)を設けている。 (P.57,125,161)	・巻頭には家庭分野のガイダンス,巻末には学習をまとめるページがある。 (P.8-19,262-263)。	・技術・家庭の他の学習内容と関連する箇所に「リンク」マーク,他教科と関連する箇所に「他教科」マーク,小学校で学習した内容の関連箇所に「小学校マーク」,発展的な内容に「発展」マークを表示している。(P.21,25,26,82など)	・ガイド役のキャラクター４人の挿絵を随所に表示している。(P.2など)	・学習内容のまとめ方や伝え方のポイント,及び実践例が示している。(P.255-261)
	・学習のまとめでは,学習の要点を振り返らせ,生活に生かす展開になっている。(P.94-95,172-173,222-223,248-249)	・問題を解決する道筋と生活から課題を見いだし,実践を進める流れが統一され,写真やイラストなどで示している。(P.14-15,252-253)	・学習内容等を,見開きで構成しており,「目標」「始めの活動」「まとめの活動」を設けている。 (P.22-23,24-25,26-27など)	・イラストや写真を掲載している。	・家庭分野の学習に関わる言葉について,「言葉のページ」で解説している。 (P.270-271)

	・持続可能な社会について,3Rを示し,図と具体例で解説している。(P.244-245)また,各領域において環境に配慮すべきポイントを「環境」マークで表示している。(P.50-51,56,80,113,250など)	・意思決定のプロセスを食生活,衣生活,消費生活で統一された形式で示している。(P.44-45,114-115,230-231) ・生徒の興味・関心を喚起する手立てとして,キャラクターのつぶやきを表記している。(P.22,32など) ・調理実習例が47例,布を用いた物の製作例を13例示している。(P.60-65,68-73,76-82,87,162-171,198-199)		・教科書の下の部分に「ひとくちＱ＆Ａ」が78箇所ある。 ・「プロに聞く！」と題した学習内容に関係する職業の人のコラムが9箇所ある。 (P.29,51,85,111,121,132,201,238,269)	・教科書に自分の考えを書き込めるスペースが17箇所ある。(P.12-13など)

教育図書	・基礎的な技能の「ほうちょうの扱い方」では,切り方の解説とともに,切った後の食材の原寸写真を掲載している。(P.106-107) また,スナップのつけ方,まつり縫いを,図で解説している。(P.195)	・「生活の課題と実践」では,問題解決学習の進め方が統一され,「ステップ」で段階的に示している。(P.62-67,144-147,224-227)	・伝統や文化の内容は,「参考」(P.139,141,182,183など)や写真・図などで掲載している。(P.136-137,150-152,182,183,210など)	・実物大の手形,足型,野菜,卵,綿花等の写真を掲載している。(P.30-31,68-69,172-173)	・ロールプレイングや話合い等の言語活動を取り入れた実習例がある。(P.18-19,25,43,98,189,239など)
	・各節ごとに「学習の目標」を示している。また,「キーワードチェック」で,重要語句の確認ができる。(P.8,10,16,20,22,26,32,36,40,44,46,48,52,70,74,78,88,94,104,134,150,154,160,166,174,176,184,188,198,204,230,234,240,242,246,250,254,260,264)	・巻頭にガイダンスとなる「家庭分野の学習を,はじめよう!」があり,巻末にはまとめとなる「家庭分野の学習をふり返ろう」を設けている。(口絵1・2,P.272)	・技術分野と関連する箇所に「リンク」マーク(P.63,144など),発展的な内容に「発展」マーク(P.28,51など),小学校で学習した内容の関連個所に「復習」マーク(P.177,194など)を表示している。	・双子の兄弟のキャラクターがガイド役をしている。(口絵1など)	・「生活の課題と実践」と題して内容末に,問題解決の過程とまとめ方や発表方法の例がある。(P.62-67,144-147,224-227)
	・各領域の終わりに「学習のふり返り」があり,確認問題を掲載している。(P.60-61,142-143,222-223,270-271)	・観察,調査,実習などの実践的・体験的な学習活動が,「実習」マークで表記している。(P.14,18,25,38など)	・学習内容等は,見開きで構成しており,「目標」「始めの活動」を設けている。(P.8-9など)		・教科書に自分の考えを書き込めるスペースが17箇所ある。(P.4-5など)
	・持続可能な社会について,3Rをイラストと具体例で示してある。(P.265)	・生徒の興味・関心を喚起する手立てとしてキャラクターのつぶやきを表記している。(P.6-7,9,11など) ・各領域・各章の導入では,自立度チェックやクイズを設けている。(P.6,30,68-69,148-149,228など) ・調理実習例が31例,布を用いた物の製作例を8例示している。(P.38-39,116-133,210-219)			

開隆堂	・基礎的な技能の定着のため,写真やイラストを用いて解説している。(P.96-97,101,186-189など)例えば１本のきゅうりから多様な切り方ができることを示している。(P.97)また,スナップつけ,まつり縫いは,写真とイラストで解説している。(P.187-189)	・「生活の課題と実践」では,課題学習の進め方の流れが統一された「ステップ」を示し,生活に生かせる活動や実践を写真で示している。(P.248-257)	・伝統や文化の内容に「伝統文化」のマークを表示している。(P.98,99,128,130-135,149,153,170,172,173,253,255,271,272,ⅳ)	・実物大の野菜,果物,魚,卵,手形,足型などの写真を掲載している。(P.22,23,75-77)	・「話し合ってみよう」の課題提示やロールプレイング等の言語活動を取り入れた活動例がある。(P.14,18,34,36,48-51,54,62,92,130,136,152,154,156,162,164,168,172,186,206,214,220,230)
	・中項目ごとに「ふり返り」が設定され自己評価ができる。(P.19,41など)題材の終わりには「学習のまとめ」を設定し,学習を振り返らせ,生活に生かす展開になっている。(P.59,141など)	・家庭分野のガイダンスが巻頭に2ページあり,内容別のガイダンスが目次の後に8ページある。(ⅰ-ⅱ)(P.2-9)	・発展的な内容は,「参考」「探究」「発展」などのコラムおよび参考応用実習例として提示している。(P.13,17など)	・中学生のキャラクターがガイド役をしている。(P.３-４など)	・「生活の課題と実践」に関わり,まとめの方法と発表方法の例がある。(P.248-257)
	・持続可能な社会について,5Rを示し,図と具体例で示してある。(P.239)	・探究,発展では,実験や観察などを取り上げ,学習を深めるきっかけを作っている。(P.22-23,30-31,70-71,180など)	・他の学習項目や技術分野などと関連する箇所に「リンク」マークを表示している。(P.9,12など)	・教科書の下の部分に「豆知識」が151個ある。(P.12,13,14など)	・「言語活動の充実のために」に,書いて気持ちを伝える例がある。(P.260-263)
		・調理実習例が47例,布を用いた物の製作例を9例示している。(P.104-129,198-205など)	・ページは,見開きで構成しており,「学習の目標」「導入課題」を設けている。(P.14など)	・奇数ページの右上には,各内容を特徴づけるマークがついている。(P.13,15など)	・教科書に自分の考えを書き込めるスペースが28箇所ある。(P.20-21など)
			・食生活の分野では,科学的な要素を取り入れた実験資料がある。(P.70-71など)	・「参考」という資料で学習内容に関係する職業の人のコラムが9か所ある。(P.13など)	

令和２年度使用中学校教科用図書　調査研究　報告書

種目　英語

	観点１ 基礎･基本の定着	観点２ 主体的に学習に取り組む 工夫	観点３ 内容の構成･配列･分量	観点４ 内容の表現･表記	観点５ 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習，体験的な学習などを取り入れるなど，生徒の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて，思考力・判断力・表現力育成に資する言語活動の工夫
東書	・各Partで，基本文と練習問題を設定している。また，モデル文を例示している。（3年P.71）	・各学年の目標，各Unitの題材，文法，活動の目標などを一覧で示している。（各学年P.2-3）	・伝統文化に関する題材を各学年で扱っている。(1年P.110,2年P.80-85,3年P.18-19,132-133)	・Daily Sceneでは，登場人物が写真で示され，活用場面を示している。また，3年間を通して一つのストーリーになっている。（1年P.64-65）	・Tool Boxに場面に応じた表現を示したり，資料編(Bonus Word Box)でジャンルに分け，イラストともに語彙を示したりている。（1年P.73,144）
	・各PartでSpeakの後にWriteを設定し，定着を促している。（1年P.121）	・辞書指導を第1・2学年で段階的に扱っている。（1年P.37,52，2年P.31）	Unitのはじめに単元の目標を示し，終末の「まとめと練習」で目標が達成されたかどうかを評価する構成となっている。	・各UnitのRead and Thinkに示される「コラム」欄に，写真や図表を用いている。また多様な地域の話題を扱っている。（3年P.29）	・Presentationは，各Unitで習得したことを用いて発表する内容となっている。（3年P.18-19）
	・単元末のActivityにおいて，「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の順で段階的に設定している。（2年P.40-41）	・「学び方コーナー」やSound Boxで，Q&A形式で示している。（1年P.115，2年P.113，3年P.95）	・Part1，2から読む活動が中心となるPart3，4（Read and Think）に向けて，英文量が増える構成となっている。（3年P.82-89）	・資料編(Bonus Word Box)では，形容詞を対で取り上げ，イラストともに示している。（2年P.140-141）	・Daily Sceneでは，全学年で電話の会話や道案内の場面を段階的に取り扱っている。（1年P.72-73，3年P.80-81）
	・複数Unit後に設定された「まとめと練習」で，既習事項を繰り返し扱っている。（1年P.92）	・各学年の巻末のWord Roomでは，ジャンル別に語や語句をまとめている。	・時差（社会），平和に関する事柄や人権に関わることを扱っている。(1年P.78，3年P.82-89，P.148-151)		・Unitの前半のWriteでは例文を見て書く課題，後半のThinkでは考えて書く課題を設定している。（2年P.69-75）

開隆堂	・基本文の習得と活用のため，４技能を総合的に扱っている。(1年P.104-105)	・セクション毎に到達目標を示している。	・1セクション見開き2ページ構成で，左ページに基本文listening，speakingなどの基本練習，右ページに本文とwritingの課題を配置している。	・発音やイントネーション，アクセントを脚注に示している。（1年P.58脚注等）	・Power Upでは，買い物や依頼する場面の他に，時刻や物の持ち主を尋ねる活動を設定している。（1年P.56，P.74）
	・Program後の「英語のしくみ」で，既習事項を繰り返し扱っている。（3年P.32-33）	・My Projectにスキット作りやＣＭ作りを取り入れている。(2年P.36-39, P.106-109)	・統合的な言語活動を目標とするMy Projectでは複数の活動をスモールステップで設定している。(1年P.44-47)	・１年巻末のアクションカードで動詞とそれに続く語との結び付きを示している。	・My Projectでは，Expression Boxで対話表現例を示したり，Writingの表現例を示したりしている。（3年P.37,64）
	・巻末の「Basic Dialogのまとめ」において，各単元の基本表現を，英語と日本語で左右に分けて示している。（1年P.126-129，2年P.120-123，　3年P.111-113）	・学び合い高め合うために，「協働学習」を取り入れている。（1年P.47，2年P.15，　3年P.37）	・伝統文化に関する題材が各学年にあり，外国に発信できる活動が設定されている。（1年P.80-83,90-95, 2年P.40-43,96-101，3年P.46-49,54-59,62-65）	・1年では英語の表記の大半をブロック体で表記している。	・全学年巻末に，英語で「できるようになったことリスト」を示している。4技能ごとに分けてあり，到達度をチェックする欄がある。
		・見通しをもって学習したり，習得の状況を確認したりするために，巻末に英語で「できるようになったこと」リストを示している。	・時差（社会），平和や環境に関する事柄や人権に関わることを扱っている。（1年P.38-43，2年P.62-67，3年P.84-89）	・新出語句にチェック欄，ページ右下に音読回数のマーク欄を設けている。	
				・英語のしくみを図を使って示している。（1年P.58，3年P.22）	

学図	・小学校との接続の観点から，第1学年Lesson 1の学習を一般動詞で開始している。（1年P.20） ・全学年ともにPre-lessonから始まり，前学年の復習を取り入れている。（2年P.6-7，3年P.6-7） ・各Lessonの新出文型や文法事項の練習において，「聞くこと」から，ペアやグループでの「話すこと」につなげるよう設定している。(1年P.53，2年P.71，3年P.39) ・各Lesson末のReviewでは，4技能を総合的に扱っている。（2年P.108，3年P.106）	･Check It Out(重要文の文法解説)は文法用語の使用を最低限にとどめている。（1年P.50，2年P.65，3年P.54） ・本文ページ下のTips欄に，背景知識や内容理解の手助けとなるものを示している。(1年P.38，2年P.48，3年P.58) ・全学年ともChapterの扉に学習表現と何ができるようになるかを示している。(1年P.19，2年P.5，3年P.5)	・各Lesson末のReviewでは，学習の負担を考慮して，第1学年では1ページ，第2，3学年では2ページと構成を変えている。（1年P.36，2年P.42，3年P.14-15） ・日本の伝統文化を紹介する題材を各学年で取り上げている。（1年P.88-93，2年P.8-13,110-115，　3年P.8-13,20-21） ・時差（社会），平和や環境に関する事柄や人権に関わることを扱っている。（1年P.71,110-112，2年P.78-85，3年P.50-53）	・第1学年では英語の表記をすべてブロック体で表記している。 ・Check It Outでは，品詞を色別に表記し，文構造を説明している。（2年P.65） ・体験的な学習を促すため，点字に実際に触れることができるような印刷をしている。（1年P.110）	・習得した表現を活用するChapter Projectを各Chapter後に設定している。発表を聞いてグループで質問し合う活動場面がある。（1年P.80-81，2年P.58-60，3年P.20-21） ・グループで自分の意見を論理的に述べるための活動を設定している。単文ではなく理由を付けて話すことができるよう，ステップを設定している。（3年P.110-113） ・全学年とも学年末にBook Projectで１年間に習った表現を活用する言語活動を設定している。3～5つのスモールステップを設けている。（1年P.130-132，　2年P.128-131，　3年P.120-122）

教出	・各Partで各技能の活動を設定している。(1年P.87, 2年P.5, 3年P.61) ・各Partにおいて簡潔な基本文とそれに対するポイントを示している。また，単語を入れ替えて練習する問題がある。（1年P.18-19, 2年P.6-7, 3年P.64-65) ・Lesson末の「英語のしくみ」に文の作り方をまとめており，学習内容の定着を確認できる。（1年P.33, 2年P.13, 3年P.25) ・別冊のEssentialsで，Lesson毎に聞くこと，話すことと書くことの演習問題を設けている。（1年P.6, 2年P.2, 3年P.3)	・各学年に「辞書についていっしょに学ぼう!」のページを配置し，実際に辞書を使う活動を設定している。（1年P.128-129, 2年P.110-111, 3年P.92-93) ・各Partに学習到達目標を掲げている。（1年P.18, 2年P.4, 3年P.4) ・巻末にCan-Do自己チェックリストがあり，自己評価をする欄がある。（1年P.142-143, 2年P.142-143, 3年P.142-143)	・日本の伝統文化についての題材を，表現活動につながるよう設定している。（1年P.86-93, 2年P.48-51, 104-108, 3年P.16-23,28-35) ・各LessonがHop,Step,Jumpの構成となっている。JumpではTaskでLessonを振り返る活動，Projectでは既習事項を用いて様々な表現ができるような活動を取り入れている。 ・時差（社会）や平和や環境に関する事柄や人権に関わることを扱っている。（2年P.92-99, 3年P.100-105)	・Culture Notesでは，文化に関する解説をし，本文読解の参考資料としたり，自国の文化および異文化理解につなげたりしている。（2年P.50) ・ActivityのTool Kitではイラストや写真の視覚的な支援を取り入れ，自己表現につなげている。（2年P.57)	・Projectで，それまでに学習した内容を用いた表現活動を設定している。（1年P.48-49,84-85) ・Time for Wordsで，分野ごとの単語やフレーズを紹介しており，表現活動を高める語彙を増やしている。（2年P.24,54) ・付録のCan-Doリストでは，学年ごとの到達度を自己評価する欄が設けてあり，表現活動の見通しをもたせている。（全学年P.142-143)

三省堂	・文法用語を使い，基本文の説明をしており，ドリルがついている。（2年P.44） ・基本文の習得のため，DrillとPracticeを通して，４技能すべての活動を設定している。（2年P.44-45） ・各レッスン後に「文法のまとめ」があり，身に付けた学習内容の確認ができる。（2年P.50） ・Soundsのコーナーで，発音とつづりの関係を継続して取り上げている。（2年P.78）	・「読むこと」の活動では，英文の読み方について提示し，USE-READのページでまとまった文章を取り上げている。また，Tipsで語句の意味や背景知識を，Checkで読み取りのポイントを示している。（1年P.92-93） ・自主学習をするときの手立てとして，For Self-studyがある。（2年P.84） ・巻末の「いろいろな単語」では，英語で表現する際に必要な語彙を分野別にまとめている。（2年P.136-139） ・巻末のCan-Doリストで，付けたい力を示しており，自己評価欄を設定している。	・レッスンごとに扉のページで学習の見通しを立て，GETで基本的内容を習得，USEで活用，「まとめ」で学習を振り返る構成となっている。（1年P.36-45） ・第1学年の1学期のGETは，音声で新出文法事項が導入されており，段階的に文字への移行を図っている。（1年P.40） ・第1学年のLesson7からUSEのページを設け，活用させることを意識した構成となっている。（1年P.92） ・統合的な言語活動を目標とするProjectでは，多様な活動にスモールステップを積み重ねながら取り組むよう設定している。（1年P.82-83） ・日本文化に関する題材が各学年にある。（1年P.111-119，2年P.41-47，3年P.23-29） ・時差（社会），平和や環境に関する事柄や人権に関わることを扱っている。（3年P.37-45，P.69-79）	・「文法のまとめ」やReviewでは，時制などを図や絵で表している。（3年P.20，33） ・Word Bankでは，イラスト付きで単語を示している。（2年P.45） ・巻末付録に英語の仕組みを絵で示している。（2年P.131）	・USE-Writeでは，３段階の言語活動を配置し，各段階の中でもスモールステップを設けている。（2年P.64-65） ・Use-Speakでは，会話を続ける工夫や，クイズを考える材料を提示するなど，表現力を高める工夫を示している。（1年P.94，P.106） ・「書くこと」の活動の発展として，他学年も含めた教科書のレッスンの要約文を書く活動を設定している。（3年P.44-45） ・「教室で使う英語」として，よく使う表現を4つの場面に分類して紹介している。（1年P.18-19）

光村	・巻末に基本文一覧を掲載している。(1年P.166-167, 2年P.157-159, 3年P.148-151) ・各Partで聞くことの活動につながるDrill問題を設定している。(1年P.47, 2年P.37, 3年P.29) ・Unit末のLanguage Focusで，学習事項の振り返りをしている。(1年P.53, 2年P.43, 3年P.32-33) ・Sound Focusでつづりと発音の関係を取り上げている。(1年P.57,105, 2年P.122)	・You Can Do Itでは，自己表現の場としてSmall Goalを設定し，活動の手順やポイントを具体的に示している。また，自己評価欄を設けている。(1年P.42, 2年P40, 3年P.30) ・Your Coachでは，自分で学習する際のヒントを示している。また，聞き取りや表現などのポイントやコツを紹介している。(1年P.58, 2年P.48-49,89,124, 3年P.38,81,102-103)	・CLILでは，様々な教科の内容と言語の両方を合わせて学ぶ方法を取り入れている。(1年P.88, 2年P.44,102, 3年P.34,90) ・各Unitの扉で，内容紹介のための投げかけや，Unit全体を聞いて大まかな内容を聞き取る活動などを取り入れている。(2年P.5) ・いくつかのUnitを通して物語が続く構成となっている。(1年P.19-58) ・Word Squareを教科書中ほどに配置することで，取り上げた語彙の使用頻度を高めている。(1年P.91) ・Word Squareがあり，イラストとコミュニケーション活動の例文がある。(2年P.78-80, 3年P.66-69)	・挿絵からセリフを考えさせるページを設けている。(1年P.112) ・各学年，巻末付録で「英語のしくみ」を図示している。	・漫画調のイラストのみのページがあり，登場人物のセリフや感情を想像し，表現する活動を設定している。(1年P.113) ・Writing Funでは，国際郵便を作成する場面があり，実際の書き方の学びにつなげている。(2年P.41) ・全学年巻末に「こんなときどう言うの」という，様々な場面で使われるフレーズを集めたページがある。